

令和5年

予算特別委員会

3月10日

豊明市議会

予 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和5年3月10日

午前10時00分 開議

午後3時14分 閉会

1. 出席委員

委員長	近藤千鶴	副委員長	服部龍一
委員	堀内ちほ	委員	いとうひろし
委員	林ゆきひろ	委員	ごとう学
委員	青木亮	委員	郷右近修
委員	清水義昭	委員	宮本英彦
委員	鵜飼貞雄	委員	近藤郁子
委員	月岡修一	委員	毛受明宏
委員	一色美智子	委員	ふじえ真理子
委員	近藤善人		
議長	三浦桂司		

2. 欠席委員

委員	中村めぐみ	委員	近藤ひろひで
----	-------	----	--------

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅井俊一	議事課長	塚谷友昭
庶務担当係長	福田悦子	議事担当係長	寺島慎二
議事課主査	梅本憲		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	副市長	土屋正典
教育長	伏屋一幸	行政経営部長	小串真美
市民生活部長	宇佐見恭裕	健康福祉部長	中村泰正
建設経済部長	伊藤正広	教育部長	藤井和久
財政課長	萩野昭久	総務課長	山田隆貴
債権管理課長	小川正寿	長寿課長	伊神竜一
保険医療課長	伊藤克代	土木課長	星子恭士
下水道課長	外山紀元	環境課長	塚田力

学校教育課長	高木安司	生涯学習課長	深草広治
図書館長	水野美樹	財政課長補佐	浦倫彰

5. 傍聴議員

なし

6. 傍聴者

なし

午前10時開議

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） おはようございます。ただいまから本日の予算特別委員会を開会いたします。

なお、中村めぐみ委員、近藤ひろひで委員より本日欠席の連絡がありましたので、御報告いたします。

本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴の入室を許可します。

それでは会議に入ります。

議案第1号から議案第8号までを一括議題といたします。

会議の進め方については、先日と同様に各会計の議案ごとに説明の後、質疑を行い、全ての質疑が終了した時点で討論は一括して行い、採決は会計順に議案ごとに行います。円滑な議事進行に御協力ください。

10款から始めます。

10款 教育費について、順次説明願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、学校教育課所管分について、予算書を基に、大きく増額した事業を中心に説明します。

歳出から説明しますので、予算書の230、231ページを御覧ください。

教育振興事務事業は前年度に比較し1,160万円の増額です。これは、説明欄にあります教員補助員、養護教員補助員、支援員、日本語教育推進員を増員するためです。

次ページ、232、233ページを御覧ください。

説明欄中段にあります放課後児童健全育成事業委託料ですが、当初予算では金額的にはあまり変動はありませんが、現在、栄小学校では児童数が増加しており、本事業も予算計上したときより今後大幅な参加が認められますので、参加者を受け入れつつ事業を進めますが、金額が固まりましたら改めて補正予算を計上させていただきます。なお、この事業につきましては、定員の設定はしていますが、自宅で児童を見られない家庭が対象となりますので、対象者は全て受け入れる必要があるためです。どうか御了承いただきたいと思います。

続きまして、234、235ページを御覧ください。

小学校管理事務事業は前年度に比較し4,612万6,000円の増額です。これは主に価格高騰を続けます光熱水費を増額するためです。

238、239ページを御覧ください。

中学校管理事務事業2,259万1,000円の増額は、主に、これも価格高騰を続けます光熱費を増額するためです。

258、259ページを御覧ください。

給食センター維持管理事業は1,658万7,000円の増額となっております。これも光熱水費を大幅に増額することによるものです。令和5年度当初予算では、大幅に増額するのはほとんどが高騰を続けます光熱水費となりますが、学校巡回弁護士事業、いわゆるスクールロイヤー事業の導入、小中学校図書の実、養護教員をはじめ、市費の学校教職員を拡充させていきます。また、学校給食においても、材料費の高騰の中、本市のおいしい給食を維持しつつ、保護者負担を軽減する給食費の減額を引き続き行っていきます。

歳入について説明しますので、68、69ページを御覧ください。

上段、教育振興費補助金は1,996万1,000円の増額です。これは主に日本語教育支援事業の補助金の補助率が変わったことによるものです。

次に、12ページ、13ページにお戻りください。

第2表 債務負担行為については、新給食センター建設のための支援事業を発注するものです。

以上で、学校教育課分について説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） それでは、生涯学習課所管分の令和5年度の当初予算について、主なものを説明します。

まず、歳出より説明をいたします。予算書の240、241ページをお開きください。

10款4項1目 社会教育総務費は515万4,000円の減額です。これは主に社会教育人件費1名分の減によるものです。

次に、242、243ページを御覧ください。

10款4項2目 公民館費は28万4,000円の増額です。これは主に会計年度任用職員の賃金単価上昇分によるものです。

次に、250、251ページを御覧ください。

10款4項7目 文化会館費は694万1,000円の減額です。これは主に文化会館指定管理料の債務負担額変更に伴うものです。

次に、252、253ページを御覧ください。

10款5項1目 保健体育総務費は223万4,000円の減額です。これは主に体育人件費1名分の減額によるものです。

続いて、歳入について説明しますので、40、41ページを御覧ください。

13款1項6目 教育使用料の社会教育使用料101万3,000円のうち、生涯学習課分は、図書館部分を除く99万5,000円です。また、その下、保健体育使用料につきましては15万6,000円です。

次に、74、75ページを御覧ください。

15款4項3目 市町村事務移譲交付金のうち、生涯学習課分は、文化財保護法等事務移譲交付金3万6,000円です。

次に、92、93ページを御覧ください。

20款5項3目 雑入のうち、生涯学習課分は、93ページの上から5行目の生涯学習課雑入から桶狭間古戦場伝説地貸付収入までです。

続きまして、当初予算の概要7ページを御覧ください。

長期継続契約締結予定一覧表（物品の借入）、最下段、陶芸の館管理事業のAED機器借上です。契約期間は令和5年6月1日から令和11年9月30日までで、令和5年度における予算額は5万600円、全期間に対する予算見込額は38万4,560円です。

以上で、生涯学習課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 続きまして、図書館所管分の主な歳出について御説明いたします。予算書246、247ページを御覧ください。

10款4項3目 図書館費、右側、説明欄の9行目、図書館資料購入費につきましては、南部公民館図書室のリニューアルに合わせ、図書資料の充実のため、令和4年度に引き続き増額となっております。事業欄3の図書館維持管理事業、一番上、光熱水費は光熱費の値上げによる増額となっております。一番下にありますデータベース使用料、こちらはその6行上にあります電算関係借上料からの組替えによるものです。

以上で、図書館所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

10款 教育費について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 247ページの図書館のところです。

図書館資料購入費1,700万円余ということなんですけど、南部公民館のところに対する資料の購入のみじゃないですよ、金額としては。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 南部公民館だけではなく、本館で買う図書、プラスアルファで南部公民館分、南部公民館分としては380万円を予定しております。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じく図書館の関連ですけれども、2款のときに図書館の外壁の改修工事が出ておりました。そのときの半年に及ぶ工事の利用者への影響ということで、駐車場のほうがちょっと心配されるんですが、その辺のカバーというのはどういうふうにお考えでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 駐車場につきましては、隣接する豊明中学校のほうに、学校の運営に支障がない範囲で駐車場を借りるお願いをしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 資料のナンバー1の③、栄小学校児童クラブ建設の概要ということでこのように書いてありますけれども、この内容については教育のほうで聞いてくれということでしたので、このプール跡に図書館ですか、図書室ですか、造るといような話が前にありましたけれども、延べ床面積900平米ということでしたけども、その図書室についてはどのようになっておるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 冒頭でもちょっと説明させていただきましたが、栄小学校の今児童クラブがかなり満杯の状態、これから学校のほうも珍しく児童が増えてきますので、そういった形で、ここの利用形態につきましても、その辺の動向を見極めた形で間取りとかを考えていきますので、今全くそういったことは流動的になっていますので、はっきりお答えすることはできません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどの図書館資料購入費のことで聞きたいです。

図書館資料購入費が令和4年度当初予算と同額だと思いますが、図書の値段が他の物品

同様高くなるということがもし起きた場合に、実際に購入できる図書の数が減ってしまうということは想定されるでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 想定されると思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書225ページの下から2つ目の学校巡回弁護士の件ですけれども、概要だと26ページの下ですね。定期的に学校に弁護士を派遣しと書いてあるんですが、巡回ということで、何かどれぐらいの頻度で学校に訪問するのか、どのように巡回されるのかということと、あと子ども、生徒児童であったりとか、御家庭が何かそういう困ったときに相談ができる体制なのかどうか、どのような形になっているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 詳細については、この月末に愛知県の弁護士会から担当の弁護士を紹介していただきますので、詳細についてはそこで打ち合わせることになっています。私どもが想定しておりますのは、これ、尾三地区の広域連携でやっている事業でございまして、みよし市と豊明市が組んだ形で正副の弁護士を立てて行きます。学校に来るのは月1回で、豊明市、みよし市、順番に隔月になるかと思えます。ただ、2つの市でやりますので、みよしのほうで別に豊明の案件を相談しても構わないということになっています。日常はメールとか電話で、困った案件については相談を受けるという形になっております。親御さんがということがあるんですが、ひとまず学校に相談があったことについて、学校で弁護士に相談して、その段階で保護者に対しては、こういう弁護士と相談してこういったアドバイスを受けておるといふ形を今想定しています。

ただ、この愛知県の弁護士会でも子どもの権利の委員会の弁護士ですので、そういった面はしっかりした弁護士さんが担当されるかと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 月1回ということなんですけれども、これ、学校現場ということで、3中学と8小学校を回るのかということと、あと、ここに、学校だけでは解決が困難な児童生

徒の人権に関わる問題ってあるんですけども、過去にこのような問題があったかどうかをお願いいたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まず過去があったかということなんですけど、私の知る範囲内ではございません。今言われたように、月1回、全部の学校を回るかとか、そういった話なんですけど、一応想定しとるのは、来ていただくのは2時間程度ですので、学校を指定して、ここの学校に来てくださいという、各市指定して、そこに案件を持ってきていただいて、校長先生が中心になるかと思えますけど、そういった形で相談を行うと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 その関連ですけれど、このスクールロイヤーの配置は、これ、国の方針だと思うんですけど、全額一般会計で、国からとか県の助成金とか、そういう類いはないんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今のところないものですから、要望していきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどの答弁で、主に学校が相談するということでしたけれども、人権に関わることで、学校側と保護者、あるいは子どもとの意見の違いとか、そういったことが当然出てくると思いますが、保護者や子どもはこの相談には参加させないという、そういう方針ということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そういったうがった考え方は持ってございませんで、今言われるように、絶対相談させないとか、そういうことじゃなくて、今後、まだ事業が始まっていませんので、今はそういった形で進めますが、今言われたように、相手方の意見

も聞かないかんとすることも当然出てきますので、そういった形の状態はこれから協議していきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 さらにうがった質問をしますが、保護者のほうからこの相談を希望して、それでこの相談が行われるということも可能ですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今のところ、学校の支援室が窓口になることになっていますので、全てのところから入ると弁護士さんもパンクしてしまいますので、言ってはならないですけど、あまり大きな委託料を払っているわけじゃないので、一応整理させていただいて弁護士に相談させていただくということは、最初はやりたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） 今の高木課長の説明の補足であります。まずは学校運営に関する、そういった様々な問題について、弁護士さんの意見をいただきながら運営していきたいというのが基本です。例えば、歩道橋を子どもたちが通って通学をしていると。だけでも、その歩道橋に面したおうちから、覗かれちゃうじゃないかみたいな、そういったクレームが来る場合もございます。そうしたときに、法的にどういったことが対象になってくるのか、どういうふうに解決していけばいいのかというような、そういったことをまずは考えておまして、今、ごとう委員がおっしゃったような、細かい子どもたちの相談とか家庭に関わる相談ということまで広げてしまいますと、なかなか頻度が増してしまうのかなと思っておりますので、先ほど申し上げたように、まずは学校運営の基本的な事柄のアドバイスをいただくということで御理解いただきたいと思います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 先ほど、人権に関わる問題はなかったということなんですけども、このスクールロイヤーに対して、私、何年か前に導入を取り扱ったんですけども、問題がないにもかかわらず導入になったいきさつを教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今、教育長からも御説明があったとおり、やっぱり様々な案件が学校のほうに問合せがあります。その中で、学校の先生としても、どうしたら本当にいいのかというのはなかなか、アドバイスがないと強くというか、信念を持ってやりづらいところがあるものですから、そういったことを助けるために今回導入するものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じスクールロイヤーのところですけども、委託料というふうになっているんですけど、たしか3市連携だった、長久手が抜けてたかなと思うんですけど、この料金設定というのはどういうふうな設定になっているのでしょうか。豊明市が単独で、これ、お支払いするということになるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 長久手は、実証実験じゃないですけど、最初に取りかかっておりまして、今回、長久手はもう既に担当の弁護士がおるものですから、長久手はこの事業から抜けております。金額は、長久手市さんを参考に決めさせていただきました。あとは日進と東郷ですけど、日進と東郷は組む形でという形でやることになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、この料金72万何がしはみよしも入っていますよね、たしか、みよしと豊明と日進と東郷で案分しているような形になるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 私のとことみよしと弁護士が一緒になるものですから、みよしと豊明市で案分する形でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと待ってください。3市1町で組むんじゃないかったですか。で、みよしと豊明で案分するんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 3市1町の連携事業なのですが、先ほど言ったように長久手は既にやっていますので、長久手は抜けます。支払いについては弁護士が、私どもと東郷と日進の弁護士は違うものですから、そちらのほうには払わないという形で、みよしとうちのほう以案分する形でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどの247ページの図書館購入費の続きのほうなんですけど。すいませんね。想定されるという答弁でした。現状でどれぐらい減るかもしれないという想定があったら、教えていただきたいと思います。

それから、令和4年度の当初予算のところで、電子書籍の答弁があった中で、利用料がかかるということから導入は考えていないというお話だったと思うんですけど、こういう図書購入数が減るみたいなことで、令和5年度の当初予算についてはこのテーマはどういうふうになっているのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 値段がどのぐらい上がってどのぐらい買えるかというのは、現在のところ、まだ計算はしておりません。

それと、電子書籍の導入ですけれども、令和5年度についても、電子書籍の導入についての予算は組んでおりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書の231ページの真ん中辺りの教員業務支援員報酬913万3,000円というのは、令和4年度の予算にあったスクールサポータースタッフの報酬ということで、名前がこれ、変わったわけですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 県のほうの呼び名がこういう形に変わったので、スクールサポートスタッフの事業でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 257、お願いします。

給食関係なんですけども、賄材料費であるだとか学校給食配送委託料、これ、ほとんど予算的には当初変わってないんです。で、物価が上がっている中で変わっていないなということが気になったんですけど、そこら辺、教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 言われるとおり、かなり物価上昇して、今、単価でいうと、平均すると1食当たり20円ぐらい上がっております。当然、この賄材料費は変わってないんですが、金額がある程度固まってきましたら、今後もまた値上げも考えられますので、また皆さんにお願いする形になるかと思えます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 その一番下の残飯回収配送等委託料、これが約倍になっているんですね。これはそういったエネルギーであるとか等々の関係だと思っていいいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） これ、ちょっと説明がなくて申し訳なかったんですけど、今、牛乳は、豊明は瓶でやっておるんですけど、業者がもう瓶の生産をやめるそうなので、令和5年度の9月から紙パックの牛乳になるものですから。ただ、集めて燃やせば安上がりなんですけど、やっぱりそういうわけにいかないの、回収してリサイクルかけると結構なお金がかかるということで、今回増額させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 話戻して申し訳ないですけど、またスクールロイヤーの72万6,000円の件でありますけれど、先ほどもこの方、スクールロイヤーの配置の目的は、主に学校、教員に対するアドバイスとか、法律家の立場でということではいろんなアドバイスをするという、それはそれで当然だと思いますし、取りあえず試行とか、初めての配置ですので、まずはそういうところから対応されるということは、当然それはそれでいいと思

ますけれど、最大のこのスクールロイヤーの配置の目的はいじめ防止への対応ということだと思います。文科省もそういうようなことで配置をされるということですので、まずは学校の法的相談ということですが、この概要の説明にはそこまでは書いてありませんけれど、やはりいじめ防止に基づく、法令に基づくいじめ防止、例えばいじめ防止対策推進法の法令に沿った対応を学校がしているかどうか、こういうこともチェックするのもスクールロイヤーの役割だというふうに思いますので、この概要の説明だけではなく、やはり最大の目的はそういうことを目的に、この72万6,000円を使用していただきたいと思うんですけど、そこら辺についての考えはいかがでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まだ担当の弁護士が決まってないので詳しい話はしていませんが、その権利委員会の弁護士の方と御相談しとる中で、今、宮本委員が言われましたとおり、例えばよくいじめの問題なんかがあるそうです、その問合せで。でも、その中では、学校側の立場と保護者の立場が言い分の中では出てくるんですが、弁護士としては、そのときに子どもがどうしたら学校に復帰できるんかとかいう、そういったことを第一に考えて対応を学校のほうにアドバイスしたいということ言っていましたので、今言ったようなことをしっかり含んだ形で相談のほうをしていきたいと思っています。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回のスクールロイヤーの関連なんですけれども、今の質疑、答弁をお聞きしていて、いじめ云々というところで、保護者と学校というふうな、ありました。それで、子どもが抜け落ちているなというふうに思っちゃったんですが、試行的というのか、最初はそういう学校運営についての相談ということでスタートされる。先ほど教育長が、家庭に関わる相談も入ってくるとなかなか頻度もあってとあったんですが、子どもにとって中立な立場の何か第三者機関だとか、そういったことの必要性というのは、現時点ではどのようにお考えですか。今回これを、制度を始めることに当たって。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今も説明しましたが、保護者と学校のはざまに入った子どもの権利が一番大事なので、そういった形で弁護士は対応したい。だから、あくまでも学校のそういった、学校側に立つという立場は取りたくないということは言っています

ので、今言った形で、子どもの権利をしっかりと把握した状態のアドバイスをくれると考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 概要の27ページの養護教員補助事業1,135万3,000円、予算書でいくと231ページですけれど、これは市費で採用する養護教員さんののだと思いますけれど、昨年予算より増えていますけれど、これは何人分の予算でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 1,100万の人数ということでよろしいですかね。人数は5名でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 5名の予算ということで、ということは小中学校、全ての小中学校に複数、2名配置ということが、この5名でできるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 昨年度まで3中学校、プラス、一番児童数の多い中央小学校に配置しておりました。今年度は、今、宮本委員言われるように、もう一人入れる形で、次に大きいのは栄小学校や二村台小学校になってくるかと思っておりますので、2校を掛け持ちしてやる予定でしたが、ちょっと県のほうに要望したら、二村台小学校には県費の養護教員が複数配置するということになりましたので、栄小学校に一応配置はするんですが、今もそうなんですけど、1人しかいない学校については、野外教育学習だとか修学旅行なんかに関わると養護教員が足らなくなるときがありますので、ローテーションを組んだ形でこの先生たちをやっていただくということを考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の同じ概要の27ページの下の方の文化会館の運営事業ですけれども、8,700万円ほど上がっておりますけれども、この内訳について、主なものと金額を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） 金額の中身については、指定管理のほうの企業の内容にもなってきます。内容の種類としましては、基本的には人件費、あとは施設の中の維持管理費、あとは受託事業、自主事業というものを行うときの予算という形になります。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 すいません、予算書の13ページの中ほどの給食センター整備事業支援業務委託事業、令和6年度ってあるんですけど、こちらのちょっともう少し詳しい内容を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まだ今ちょっと用地についてがいろいろ交渉中でございまして、用地が確定しましたら、今度やっていただける業者さんを選定するんですが、その中でこの事業を、例えばどういったサービスの要求水準書をつくるですとか、また実施方針ですとか、民間業者の募集ですとか、そういった選定に関わる支援をこの業務で、契約までなんですけど、の支援を行っていただくという業務になっておりまして、令和6年まで、2年かかってやる予定でおりますので、今回債務負担行為として計上させていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ちょっと戻ってごめんなさい、文化会館の指定管理料についてです。251ページです。

これ、前年度と比較すると、約700万円ぐらい安価に予算計上されているんですけども、これほどまで変わった主な理由、分かったら教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） こちらのほうの予算については、従来につきましては、募集をするときの債務負担額の上限額を予算計上させていただいておったんですけども、ほかの指定管理の今のところ、市全体の中で統一をする中で、提案額に対しての債務

負担行為額というような形になったものですから、その分の差額になります。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 予算書231ページ、これは人数だけをまず教えてください。学校図書館業務1,285万7,000円のこの予算は会計年度の予算だと思いますけれど、学校図書と教員補助、それから特別支援員、日本語の推進、それから教員業務支援、この予算の裏づけの人数を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まず、学校図書でございますが、11名で、昨年と同様でございます。教員補助につきましては22名、1名増員を計画しております。先ほど説明しました養護教員は4名から5名に、特別支援につきましては52名から53名に、あとは、教員業務支援につきましては変わらず13名でございます。

以上でよかったですか。

（日本語の声あり）

○学校教育課長（高木安司君） 定住外国人ですね。これは9名から11名に、1名は補正で増やしていただいておりますけど、当初と比べると9名から11名に増員させていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 とりわけ教員、日本語推進の11名の配置、小学校なり中学校、配置先とその人数を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 二村台小学校に6名、豊明中学校に4名で、中央小学校に1名です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ教育振興事務事業で、ちょっと概要のほうで見てたんですが、

概要だと44ページ、中ほどです。ポルトガル語相談員報酬が全部、令和5年度ゼロになっているんですが、ここ、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） それが、今御説明しました定住外国人のほうに統合されておりますので、なくなっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 56ページ、57ページをお願いしたいと思います。

この56ページの一番上の教育費国庫交付金で448万2,000円、前年度ありましたけど、なくなっています。これ、前年度歳出では、放課後児童支援員処遇改善の予算ということで同額が計上されておりましたけれども、今年度上がっておりませんが、この処遇改善はもう今年度は必要ないという、そういうことなのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そんなことはありませんで、処遇改善は今年もあります。

で、どこに行ったかということなんですけど、63ページの下から2段目の児童福祉費補助金、地域子ども・子育て支援事業費補助金のほうに統合されましたので、なくなっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書の237ページです。一番下の小学校扶助事業、要保護と準要保護の就学援助金、それから中学校についても同じです。令和4年度の当初予算と金額がほぼ同じでやや減っているんですが、令和5年度の準要保護の捕捉率は4年度と同じということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今言われたとおりで、小学校費も若干下がっておりますが、人数としては昨年度の予算では340名を、今年は360名と踏んでおりますが、高学年になるほど修学旅行費ですとか就学助成費が高くなりますので、そういったバランスで下が

ったと思っております。

中学校のほうにつきましても、中学校のほうは実数を見て、195名相当だった去年と比べると190名と、5名減った分が減額となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 ということ改めて、物価高騰のこともあって、自治体の独自設定の割合をどんどん引き上げることは限界あると思うんですが、たしか1.5でしたよね、令和4年で。令和5年度も1.5で固定ということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今言われとるのは、生活保護世帯に比べてということだと思うんですけど、1.5で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどのちょっと確認ですけれども、歳入の63ページの地域子ども・子育て支援事業費5,733万2,000円の中に処遇改善分が入っているということでしたけれども、昨年は448万2,000円でしたが、今年度は幾らこの中に入っておるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 想定単価は一緒ですので、同額だとは、これは私どものちょっと予算ではないものですから、はっきりは言えませんが、同額、同じ規模ですので、同額程度入っていると考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 257ページの給食のことでお伺いしたいと思います。

昨年、賄材料費、同額で大丈夫ですかというようなこともあって、今年も同額なんですけれども、同額のものが多い中で、特に委託料なんかはそんなに変わってない中で、残飯回収配送だけが特別に多くなっているのは、これは何か要因がありますか。

(聞きましたの声あり)

○近藤郁子委員 ごめんなさい。すいません、聞きそびれました。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 先ほどあった質疑ですので。
林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の233ページ、先ほどの放課後児童健全育成事業の処遇改善も関係するかなと思うんですが、下から3つ目の放課後児童健全育成事業の補助金がかなり前年度と比較して増額しています。これが処遇改善も入ってなのか、それと、それ以外に何か増額している要因はあるのかどうか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。
高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 規模によってこの補助金は変わってきちゃうものですかから何とも言えないですけど、ほとんどが、今言われるように、処遇改善がここの中に吸収されておりますので、その分が増額と考えていいかと思えます。
以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。
近藤善人委員。

○近藤善人委員 227ページ、下から2つ目のいじめ・不登校対策推進事業委託料、これって500万になっているんですけども、この中に多分Q-Uアンケートって入っていると思うんですけども、Q-Uアンケート以外の予算が何か入っているんでしょうか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。
高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） スーパーバイザーですとか、そういったものの人件費というか、委託料ですね、そういったものも中に入った形だと思います。
以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。
近藤善人委員。

○近藤善人委員 スーパーバイザーっていうのは、次のページの9万円というのがあるんですけども、ここにも入っているということですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。
高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） ちょっとお待ちください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書251ページ、概要の27ページ、文化会館の指定管理のことで
す。

先ほど、鵜飼委員のほうから、指定管理料の700万弱減ということで、計上の仕方を変えたよということをお聞きしました。あと資料で、資料のナンバー2-7を見させていただいて、今回のプロポーザルの内容が分かるものということでこの資料を頂いているんですが、新しく5年間の1年目が来年度ですのでお聞きしたいんですけども、この文化会館の施設に当たって、市としてそういう、例えばこの資料ナンバー2-7、つなぐ、育てる、支える、いろいろ書いてありますけれども、市としてそういった地域との関係性を深めるだとか、そういったコーディネーター的な役割というのは市として求めているらっしゃるんでしょうか。この資料ナンバー2-7は事業者側の提案の内容だと思うんですけども、新しく指定管理者が変わる年なのでお聞きしているんですが。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） 今、委員のほうから御質問いただいた件ですけども、市としても、やはり今回のところの、いわゆる文化会館の指定管理については、やはり地域との結びつきみたいなところにはかなり重きを置いております。ですので、文化芸術の中でも、文化芸術に関係するにぎわいをもたらすような、そんなようなところについては重点的に考えている、そんなようなことを進めていきたいというふうに考えております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうしますと、今までのホームページで公表されているモニタリングの結果もいろいろあるんですが、その辺の指標というのか、評価、分析していく内容も変わっていくという理解でよろしいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） もちろんこれまで、今現在、文化会館のほう、指定管理を担っている方、その事業所についても、にぎわいについて事業をやっていただいておりますので、モニタリングの指標についての基本的な変更というのは今の現時点では考えておりません。ただ、今回募集をする際には、そういった部分のにぎわいのところを重点的に考えた中で、募集をさせていただいたというところがございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 先ほどの近藤委員の御質問の中で、ちょっとスーパーバイザーとして間違えた、言い方を間違えましてすいませんでした。スクールカウンセラーの謝金が入っております。

以上です。すいません。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 概要の27ページの、先ほど話に出ていました文化会館の運営事業ですけれども、この8,700万の内訳は、人件費、維持管理費、受託事業費等であって、金額は一切出せないということでしたけれども、これ、市の事業ですと、こういうのは金額が出てきて、その多い少ないも、私たち、これ、検討することができるわけですが、こういうのは一切秘密で出さないということなののでしょうか。それが営業秘密に関わるということであれば、どういうところが営業秘密に関わるのかの御説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） 今回の予算の中でも、指定管理に関係するトータル的な合計金額の指定管理料の金額についてはお示しをさせていただいております。ただ、この金額の中で、どこの分野についてウエートを置いて事業をやっていくかとか、そういった部分については、それぞれ企業間の中でのノウハウに関係するところになりますので、そこらについては秘とさせていただいているものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 確認です。

私、一番問題なのは、この受託事業費だと思うんですけど、要するに文化会館で行ういろんな催物に関する予算がどれだけこの中に入っているかということだと思うんですけど、それも公表できないということでしょうか。他市は聞くと教えてくれるんですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） この事業受託事業費の内訳についても、こちらのほうで公表することはできません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 予算書231の、先ほどちょっと聞きましたけれど、教員業務支援員報酬913万3,000円。まず、13名ということですけど、この予算というか、この方は、いわゆる教員の事務の補助という理解でいいかどうかということと、13名の配置は、これで全小中学校、最低1名は配置できているのかどうか、まずこの2点についてお伺いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 基本は、職員室等で先生のコピーですとか、配布物についてお手伝いするというのがイメージとしてはあります。あとは先生から言われたことをやっていただくんですけど。そして、配置できとるかということで、基本的には各小中学校1名ずつでございまして、ただ、13名ですので、二村台小学校と豊明中学校には2名配置しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 単純な質問で申し訳ないですけど、ここだけ報酬という勘定科目になるんですけど、これは何か意味あるんですか。支援員というと、ほかにも支援員、たくさん見えるんですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 言い方がそういった形になつとるので、支払いとしては報酬で進めて、この書き方が業務って書いてあるんですけど、報酬で全て支払っておりますので、ちょっと言い方が、大変申し訳ないですけど、報酬と書いてあって、普通の業務なんですけど、皆さん、報酬として支払いしておりますので、色づけとしては一緒でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 であるなら、逆に、特別支援員と同じように教員業務支援業務というふうな予算勘定説明書きのほうがいいような気がするんですけど。ここだけ報酬というところとちょっと違和感あるんですけど、いかがでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） ちょっと検討して、今言われることをちょっと考えたいと思います。

以上です。すいません。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 227ページの教育振興事業の真ん中より少し下の特色ある学校づくり事業委託料、こちらの中身というか、内容を教えていただけますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 本当に特色ある学校づくりということで、例えば大宮小学校だと農地を持っていますので、農地というか農園を持っていますので、そこで野菜を作ったりするような苗代ですとか、そういったものも入っておりますし、中学校では、合唱に力を入れているところは合唱のほうで先生をお呼びしたりですとか、あと、特支の学級に力を入れるところにつきましては、その子どもたちと何か誕生日会をやったりですとか、そういったイベントを各学校でやっていただいておりますので、それに対する助成になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 じゃ、それは中学校も小学校も均等に振り分けられているということですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 学校に補助金を含めて割り振るときに、基本的には1校当たりまず幾らの基本額をつくって、あとは学校の規模がありますので、児童数ですとか、そういった形ではらつきが出てくるかと思えますけど、そういった形でお支払いしています。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 243ページの社会教育関係団体補助事業の豊明市文化系ジュニアクラブの補助金のことと、あと、227ページの教育振興事業の上から4番目の部活動外部指導者等

謝礼のことについて伺いたいと思うんですけれども、以前は文科系ジュニアクラブという
と、部活の中でも文科系の部活がこの中に入っていたと思ったんですけれども、今もそう
でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） こちらのほうの文化系のジュニアクラブにつきましては、
先ほど委員がおっしゃられたような文化系の、例えば囲碁であったり、天文であったり、
あとお花であったり、そういったクラブ、合計で今6団体になりますが、そういった活動
に対する補助金でございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 補足させて説明していただきたいと思うんですけど、学
校教育で持っている部活動は、文科系に限らず、学校にある部活についてはうちのほうで
お支払いしています。今、深草課長からも御説明があったとおり、学校にないような囲碁
部ですとか、そういったものについては生涯学習のほうでお支払いするって形になってお
ります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 以前は吹奏楽部、吹奏楽の関係もCJCに入っていたようなことがあつ
たと思います。あれは学校の部活、今は学校の部活として支払っているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 229ページで、同じ部活の関係なんですけど、312万という、部活動指導
業務委託料が312万、予算計上されています。これは昨年なかったような気がするんですけ
ど。それと、その下の枠の中に部活動運営費補助金で1,000万があります。これは昨年度の
予算にあるんですけど、この2つの違いについて説明願います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今言われました部活動指導業務委託料につきましては、

新しく新設されたものでございまして、文部科学省のほうが土日の部活を地域に移行するというので、今回、これ、計上させていただいております。先ほど言われたように、下のほうの部活動については、既存の部活動に対する、例えばそういった参加費ですとか、そういったもののお金が対象となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 じゃ、もう一度確認をさせていただいて、吹奏楽部の今そういった費用に関しては、227ページにある部活動が、ごめんなさい、土日はこちらのほうに入っているということで。土日に係る指導者の関係は。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今言われた部活動については、吹奏楽も学校教育のほうで見えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 先ほど宮本委員からの質問の中にあつた部活動指導者業務委託料というのは、これは平日の部活動の指導者に係ることでしょうか、それとも土日に係ることでしょうか。土日ということによかったでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今ちょっと御説明したとおり、土日の部活動を移行する過程でちょっと必要な委託料でございますので、土日の部活動、まだはっきりどの部ということは決まっておりますが、そういった部活動に対しての委託料になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 関連ですか。

郁子委員。

○近藤郁子委員 じゃ、すいません、227ページにある部活動外部指導者等の謝礼というのは、どういうふうにもひもづけとか、関係してくるんでしょうか。教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 土日に移行できたものについては新設した委託料でお支

払いする、できないものにつきましては既存のお金でお渡しする。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 その関連ですけれど、予算計上してあるということは、取りあえず予算計上されているのか、あるいは部活を地域へ移行するある程度の計画があるのかどうか、そこら辺の見込みについてお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今のところ、最大限3部ぐらいをとということで考えておりまして、各競技団体のほうとは交渉はしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっとページ数分からないんですけど、小中学校はそれぞれ保健室とかそういうところに校内のLANが来てないから入れてほしいというような声が多分あって、今回予算計上されていると思うんですけど、どこの細目で幾らぐらいずつ、小学校、中学校それぞれ予算計上しているのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 小学校ですと小学校の、すいません、ページ数が分からんものですから、ちょっと調べますので、ちょっと時間をいただきたいと思います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 235ページをお願いします。

一番上の小学校の人件費ですけれども、これ、一般職級7人ということで載っておりますが、これは多分35人学級に伴う任期付職員の人件費かなと思いますが、今、そういうことであれば、この35人学級の市費の対象になつとる学年は今どの学年かということと、それから、二村台小学校は、これは統廃合の条件でやっているものですので、二村台小学校が何人、その他の小学校がそれぞれ何人かということをお教えください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 対象になっておるのが、沓掛小学校の5、6年生、三崎小学校の5年生、二村台小学校の5、6年生ですが、沓掛小学校の5年生については人数が微妙な段階なので、といっても予算計上、もし引っ越しなんかで1人減るとクラスが分かれたりとかということが考えられますので、そういった形で、微妙ですが、この5名を一応対象としております。ただ、去年もそうだったんですけど、1年ずつ、今、県のほうの県費の補助も上がってきていますので、そうすると今年は5年生が対象になるので、うまくいけば2人で済むんですが、今のところ何も来てないので、一応5名を計上しております。

以上です。

加えて、よろしいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） お願いします。

○学校教育課長（高木安司君） 先ほどの清水委員の質問でございますが、まず、小学校のほうは保健室のLAN増設で、はっきりした数字は申し上げませんが、250万ぐらいですかね。で、中学校のパソコン教室のLAN工事が、これもはっきりした数字はお示しできませんが、100万円前後ということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 委員の皆さんにお伺いします。まだ質疑ありますか。まだありますか。

じゃ、ここで、会議の途中ですが、10分の休憩とします。

午前11時1分休憩

午前11時11分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 人件費についてですけども、先ほど小学校のほうは分かったんですけど、中学校のほうの人件費。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ページ数をお願いします。

○林 ゆきひろ委員 ページ数だと239ページになるんですかね。今まで中学校の人件費で2人ほど上がっていたんですけど、それがゼロになって、その項目自体がもうないんですけど、ゼロになった理由と、あと、225ページの事務局人件費、こちらは15人から18人で3人の増員をされているんですけども、この辺りの理由をお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 中学校のほうの人件費がなくなったのは、中学校に配置しておりました用務員さんを再任用で雇用しておりましたので、その人たちが再任用の雇用期間が終わりましたので減しました。で、今回はございません。その代わりに、今の239ページの2番目の中学校管理事務事業で、学校用務員の業務を2名ほど増員、その代わりにさせていただきます。

あと、ページ戻りまして、225ページの事務局人件費でございますが、これにつきましては、この予算を計上したときに人事のほうからの、当時の推測値ですが、予定値で配置しておりますので、また今後内示が出た等でこの人数は変わってくるかと思えます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 最初の私の質問だったんですけど、いじめ・不登校対策推進事業委託料の500万の中にスクールカウンセラーが。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ページ数をお願いします。

○近藤善人委員 ごめんなさい、227、入っていると聞いたんですけども、私の記憶違いだったらごめんなさい、Q-Uアンケートがたしか300万ぐらいだったと思うんですけども、とすると、カウンセラーの報酬が200万になってしまうんですけども。

それと、カウンセラーは相談事業に入ると思うんですけども、なぜこの教育振興事業に入っているのか、お願いいたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） なぜ入っておるのかというと、ちょっとその辺が分からないんですけども、そういった項目で事業として仕分するのがまずいというお考えでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤善人委員。

○近藤善人委員 ちょっと私、理解ができないものですから、相談事業の中にカウンセラーが入るんじゃないかと思って質問したんですけども。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今、委員さんが言われたとおり、この事業についてはQ

ーU事業が結構大きな事業を占めておりまして、そういった中で学校の満足度を調査する、これ、アンケートでございますので、同じ部類のところでお子さんたちが困っておる、御相談ができるスクールカウンセラーも同じ事業で見たほうが良いということの考え方から、同事業としております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤善人委員。

○近藤善人委員 ということは、スクールカウンセラーさんの報酬は200万になってしまいますよね。常駐で3名、あと何人かいると思うんですけども、カウンセラーさんの報酬がそんなに安かったんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） カウンセラーさんは常駐ではなくて、週に何回って決まっておって、相談時間についての報酬をお支払いしますので、決して安い単価ではございません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤善人委員。

○近藤善人委員 じゃ、カウンセラーさんの報酬は全体で200万ぐらいということによろしいでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） それは少し確認します。すいません。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 ちょっと今の善人委員と同じところのことなんですけれども、これの実績というか、子どもたちの成果というのはどれぐらいありましたか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 学校によって、これはあまり言えないんですが、学校によってアンケートのばらつきがありますので、きちんと学校のほうにフィードバックして、生徒も分かりますので、学校で、そういった対応を取っておるかと思えます。それが成果になるかと思えます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） Q-Uアンケートですが、やると、誰がこういうことを書いて

いるのかというのは全て分かります。で、それを、今、課長も言っていましたけど、担任のほうに伝えて授業改善につなげていくんですが、6月と11月だったと思いますが、それぞれ子どもに対してやるんですね、Q-Uを。6月よりもやっぱり11月が評価がよくなっています。ということは、やっぱり6月のときのアンケートを基礎にして、いろんな指導方法を変えたり、対応を変えたりしているんじゃないかなという、そういったことで、6月よりも11月が評価が上がっておりますので、今、課長が申し上げたように、一定程度の、そういった期待どおりの結果が出ているのかなというふうにも思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

じゃ、まず最初に、高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 近藤委員さんからの先ほどの答え、まだ言ってなくて、200万ぐらいで間違っておりません。これは、県費のほうのカウンセラーさんもいますので、これは市費のほうのカウンセラーさんですので、その人に対して、年間68日間で1日6時間を想定してお支払いしています。で、200万ですので、決して安い単価ではございません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 すいません、先ほどの質問にちょっと関連することなんですけど、このいじめとかそういうことによって不登校になってしまった子どもとか、それが改善されたというか、そういう人数とかというのが今お聞きすることはできないですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 堀内委員、予算についてですので、質問のほう。

○堀内ちほ委員 改善あったのかなと思っただけのことです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 改善になったかな。

○堀内ちほ委員 はい。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 予算は今からのことなので。

数字がどう変化したかということでよろしいですか。

じゃ、答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 大変申し訳ないけど、そういった数字はちょっと持ち合わせていないんですが、先ほど教育長からも御説明あったとおり、Q-Uアンケートの結果は、先ほど言ったように、調査するごとに上がっておりますので、よかったかなと思っ

ています。ただ、今言われたように、不登校の子がどんだけ改善したとか、そういうことは、このQ-Uアンケート以外でも、今スクールソーシャルワーカーという職員が3人常駐していますので、そういった人からは改善につながるようなホームフレンドを派遣したりですとか、そういった形で徐々に改善はしてきております。ただ、今言われるように、何名から何名になったというのは、大変申し訳ないですけど、今ちょっとここでは持ち合わせおりませんので、すみませんが。改善はしていると思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 今のところですけども、今年度の予算が、いじめ、不登校で506万1,000円。で、昨年も同じだったと思うんですけども、今不登校が増えている中で、この予算、増やさなくても大丈夫でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今年是一緒なんですけど、昨年度大幅に増額させていただきまして、先ほど説明しましたように、スクールカウンセラーの相談日を倍増させましたので、かなり充実させて令和5年度もやりたいなと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じ227ページの上のほうの委員等報酬の22万5,000円ですけども、これにたしかコミュニティ・スクールの委員の報酬も入っていたかと思うんですが、昨年、令和4年度と一緒の金額なんですけども、コミュニティ・スクールは増やしていくということだったかなと思うんですけども、増えてない理由、何か増やせない何か要因があるのか。それと、コミュニティ・スクールを来年度実施する学校がどこの学校なのかということを確認をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 委員さん言われるように、簡単にどんどん増やすということはやっぱり難しく、学校の事情もあって、今の事情、運営協議会じゃなくて、今の状態で評議員のほうでやっておる学校もあるものですから、そういった形で保護者の同意が取れたら進むということですので、来年度はちょっと増やしてないということでござい

ます。どこの学校かと申しますと、三崎、豊小、中央、沓掛が対象でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 235ページの一番上のところをお願いします。

先ほど質問した件なんですけど、最後に5人と言われたもんで分からなくなっちゃったんですけど、これ、一般職級、7人上がるとるんですけど、この内訳は、沓掛、三崎、二村台で何人ずつになっとるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今予定しているのが、二村が2名で、三崎が1名で、沓掛2名なんですけど、これ、足すと5名で、7名と整合性がないという話ですけど、2名は再任用で用務員として2人雇っておりますので、沓掛小学校で、それで合計で7名でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 231ページ、予算書、一番下に放課後子ども教室運営等業務で422万8,000円、次のページの中段に放課後児童健全育成事業委託で8,900万、少し下がって放課後子ども教室運営業務委託で5,300万、ちょっと下がって放課後児童健全育成事業補助金で2,300、それぞれ何かよく似たような予算措置がされていますけれど、その内容について、具体的にどのような予算なのか、そして対象の学校は何校なのかなど、分かりましたら願います。もう少し具体的に回答願います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まず最初に、231ページの放課後子ども教室運営等業務については、これ、栄小学校で、私ども、直営で唯一やっておりますので、直営の職員に対する報酬でございます。先ほど言った、ページがまたがりまして、放課後健全育成事業の委託料につきましては、これは放課後児童クラブのほうが対象になりまして、これ、民間委託しておりますので、その金額になっております。

最後の補助金ですが、これは児童クラブの中でも民営の児童クラブがございまして、そこに対する補助金となっております。それで、1個飛ばしてしまいましたが、放課後子ども運営業務につきましては、子ども業務も直営1校以外は全て委託になっておりますので、

その委託料となっております。

以上です。

(その学校でやっておるのの声あり)

○学校教育課長(高木安司君) だから、栄小学校は直営ですので、栄小学校以外は全て委託、それで、館小学校がまだできていませんので、館小学校を除いた形でございます。

以上です。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 館小学校はどこに予算が入っておるんですか。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 館はありませんっていう答弁です。

○宮本英彦委員 いやいや、児童クラブはない代わりにものがあるでしょう。何とかワン。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長(高木安司君) SP1ということをやっておりますので、SP1は教員補助員を使ってやっておりますので、教員補助業務の中に含まれております。

以上です。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 今、教員補助業務ということで、231ページですか、たしかスクールサポートスタッフさんを配置されていると思うんですけども、この22名というのはスクールサポートスタッフさんの、あれ、違った、ごめんなさい、その下のほう、教員業務支援員報酬がスクールサポートスタッフの13名ということでよろしかったでしょうか。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長(高木安司君) そのとおりでございます。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 237ページの真ん中の小学校教育振興事業の消耗品費で、デジタル教科書のたしか導入が入っていると思うんですけども、まず確認で、全ての子どもたちにそういったデジタル教科書を導入するということでもいいのかどうかということと、それをどういうふうに活用していくのか。例えば通常の授業でもそういったデジタル教科書を扱うようなことを想定されているのかどうか。それと、あと、紙の今までのある教科書とい

うのはどういうふうになるのか。併用なのか、もしくはそれを廃止していくようなことを考えているのか、その辺りのことをお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まず、結論から申しますと、2025年に向けた形の今実証実験の段階でございます。私どもが紙を廃止するかデジタル教科書にするかというふうな権限はございません。文部科学省の決定に従ってやっていくつもりです。

今回計上させていただいておるのは、実証実験ですので、国のほうから全ての学校にデジタル教科書が送られるわけではなくて、希望する学校をまた国のほうが選んで配置しますので、そういった場合にある程度流動的に対応できるように、機動的というか、そういった形でできるように、子どもたちに不利益がないように、今回計上させてもらったのが経緯でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今回のデジタル教科書の話で、個別にもお話ししたことあったんですけど、ランドセル、最近また重いとかというお話と関わってお話ししたことがあったんですけど、特定の学校や学年とかクラスが選ばれた実証実験というふうなことだから、今みたいな観点の問題に、その実証実験自身が役に立つというのもまた別のお話だということですよ。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） あくまでも実証実験ですので、それを含めた形で、国のほうも実証実験をやった学校からアンケートを取ると言っていますので、その辺も含めた形で私どもも考えていきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本英彦委員。

○宮本英彦委員 この予算の中に、いわゆる小中学校の学校教育に関するICT関係の機器、設備、ハード部分はほぼ、この予算の中でどこか新たなものが予算措置されているんかどうか。あるいは電子黒板とか、そういう導入の予算も入っているんかどうかについてお伺いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 電子黒板等の整備につきましては、なるべく早く入っていくんですが、それはまた実施計画で、今回は入ってごさいません。ここの中でも、電子機器自体は、足りない分野なんかは、先生の異動ですとか子どもの転入学等もごさいますので、そういった形はまた、中の今の持つておる既存の予算の中で対応していきたいと今のところ考えていますが、今後、その辺も大きくなりましたら、また補正等で皆さんにお願いすることが出てくるかと思えます。今のところは、特段取り出しの形では計上しておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにごさいませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書229ページ、ふるさと応援奨学金ですが、令和5年度は、この枠組みの金額は分かりますけど、何か見通しがあったら教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 例年、これは入学金を支援するものでございまして、10年間の豊明に住んでいただいたら返済の義務がなくなるという制度なんですけど、これはまた実績になるんですけど、ちょっと補正でもお話ししたけど、今のところないんですけど、その前まではあったので、残しながら、こういったことも非常に助かりますので、あれば、今回計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにごさいませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 247ページの下から2つ目の表ですけども、図書館です。先ほど冒頭で説明があったんですけど、データベースの使用料、一番下のデータベース使用料78万8,000円、これ、電算関係の借り上げからここを抜き取ったというような話だったんですけど、なぜそうしたのかというのと、このデータベースというのは何のデータベースを使用するための費用になるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） このデータベースは図書館流通センターが使っていますT O

OL i というシステムで、図書館の書誌データが全て入っているものになります。そのデータの利用率になるものですから、借り上げではなく使用料が適当だろうということで組替えを行っております。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今の同じところで、書誌情報というのは、ちょっと待ってください、自分の理解でいくと、データベースは自分たちで、この本がここの棚にあるよとかって組んでくんじゃないかなと思ったんですけど、書誌情報というのは、本の中身みたいなのを見に行くとか、そういうもんなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 少しお時間をください。すいません、後ほどお答えします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

じゃ、ちょっと答弁をお待ちください。

暫時休憩いたします。

午前11時32分休憩

午前11時34分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 大変お待たせして申し訳ございませんでした。

先ほどのTOOL i のデータベース利用率なんですけれども、本来、図書館のほうでデータベースの元となる書誌情報、タイトル、それから出版社、発行年月日、受賞履歴などを、本来は図書館で全ての本について入力をする形になりますが、それが図書館で入力するのではなくて、TOOL i が持っている資料のほうに接続して、そこのデータを持ってくるという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 最後に1点教えてください。

249ページの上のほうの、上段のほうの樹木剪定と草刈委託料324万4,000円、こちらはどこの場所でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） 市内の大狭間湿地であったり、イシモチ、あとは古戦場、そういったところの文化施設のところの樹木剪定になります。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 41ページをお願いします。

下のほう、下から2つ目の陶芸の館使用料18万3,000円で、これ、前年と全く変わっておりませんが、陶芸の館には公園の指定管理者が入っておるわけですけれども、その使用料はどうなってるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） そちらの管理事務所については、都市計画の都市公園を管理する公的な事業所ということになりますので、使用料については減免とさせていただいています。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 その減免の根拠は何でしょうか。条例とか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） 市のほうの財産に関する条例というのがございまして、その中での減免を認める項目というところがあります。そちらの中に該当するものとして、今回減免をさせていただいているものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今、公的使用と言われましたけど、使っているのは業者ですけれども、それは公的使用ということになるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） 今回、やっていただける内容が都市公園の維持管理とい

う公的な内容の事業に伴うものでございますので、その点の中で減免をさせていただいたものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 大抵どんな業者も、そういう意味では公的な仕事をやっておるわけですが、全て減免ということはないと思うんですけど、何でこの指定管理者はできるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

深草課長。

○生涯学習課長（深草広治君） 指定管理を担っている業者という形になりますので、そこへの事務所を確保させていただくという形で、減免をさせていただくものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて10款 教育費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために、暫時休憩といたします。

午前11時37分休憩

午前11時40分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、11款 災害復旧費について、説明願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 11款 災害復旧費について御説明いたします。

予算書258、259ページをお開きください。

1項1目 農業土木災害復旧費は、農業土木災害復旧工事費として5万円を計上しております。

次ページ、260、261ページをお開きください。

上段2項1目 道路河川災害復旧費は、道路及び河川災害復旧工事費として5万円を計上しております。

続きまして、歳入について御説明いたしますので、50、51ページをお開きください。

14款2項4目 農林水産業費国庫補助金として、事業費の3分の2、3万3,000円が補助されるものです。

52、53ページをお開きください。

5目 土木費国庫補助金として、事業費の3分の2、3万3,000円が補助されるものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

11款 災害復旧費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて11款 災害復旧費の質疑を終わります。

続いて、12款から14款までについて説明願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 当初予算書の260、261ページの中段をお願いいたします。

12款 公債費です。公債費は1目元金と2目の利子からなり、元金のほうは前年度より6,479万1,000円の減額、利子については前年度より31万5,000円の増額としております。

その下の13款 諸支出金は基金への積立てでございます。財政調整基金積立事業300万9,000円から、次のページの減債基金積立事業1,000円までは利子のみを計上しております。また、森林環境譲与税基金積立事業は、譲与税交付見込額750万円などから譲与税を財源とした上松町の木工製品の購入費用を除きました555万円を積み立てるものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

12款から14款までについて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて12款から14款までの質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明の入替えのため、暫時休憩といたします。

午前11時43分休憩

午前11時45分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

一般会計の各款別の質疑が終了しましたので、総括的な質疑を行います。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの2の⑧の基金の繰入金の充当先についてお聞きしたいんですけども、これの福祉基金、これは、今まで何億とか積んでいたときに、このコロナ対策のワクチンの接種だったりとか、市民の方への生活支援のために積立てするという事でこれまで説明していたんですけども、この上の特に3つ、解体工事とか、トイレの整備とかそういったことが、半分ぐらいそういったことに使っているんですけども、どうしてこういったところまでこの福祉基金が充てられているのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 条例のほうで、福祉基金のほうは、福祉事業の推進及び福祉施設の整備関係の財源に使えるとなっておりますので、今回、この事業のほうに充てさせていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 85ページ、保育所給食費の滞納ということで、市長や市全体の方針でもある誰も取り残さないという取組の中で、こういった滞納案件から重層的支援のほうへの分野をまたいだ対応というのを、去年1年間模索してきた状況だと思います。

令和5年度の予算化に当たって、何かどれぐらいの方をつなげようみたいな目標みたいなものってあるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 令和4年度から重層的支援体制整備事業ということで、始めております。

今回、今、人数をとということですが、そこまで細かい人数はありませんけれども、この重層的支援体制整備事業というのは正解がなかなかないものですから、この後、令和5年度に向けてまた試行錯誤しながら、つながっていない人を何とか既存制度につなぐとか、あるいは新しいそういった方を救えるというか、そういう活動の方につなぐというようなことはずっとトライしていく、そのような予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 説明を受けたような気がするんですけど、諸収入が6,800万大幅に減少しております。この減少理由を、申し訳ございません、もう一度、説明願います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 諸収入全体では学校給食費を40円減額をしておりますので、その部分で大体3,800万ほど。あと、名古屋岡崎線の関係の県からの公共補償金が、3,000万円ほど減っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 電気料金が物すごく高騰して、何か全体で1億3,000万ぐらい今回の予算で増えとるといような予算説明のときにありましたけれども、ずっと今まで見てきた中で倍以上上がっているところもあれば、ほとんどほんの僅かしか上がってないようなところもありますけれども、これまで高压で割安で買ってあったところがどっと上がっておるといようなことは理解できるんですけども、それでも何かばらつきがあるのはどうということかということと、それから、ついでに高压になつとるところはどこまでかという、それも併せてお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 使い方とかも、コロナの関係で会議室とかを使ってなかったところが、大分緩和されて部屋を使うようになって、使い方とかで増えるというんですね、そういう見込みをしている施設とかがあります。

高压の施設については、庁舎と小中学校、保育園以外の大きな施設はほとんどが高压…。保育園以外のところが、大きな施設はほぼ高压でいいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 全体の予算ですけど、豊明市の市税の予算計上の率が2.7%で見込まれているんですね。他市町を見ますと一概にもっと低いとこも当然ありますけれども、私が見た限りでいくと、若干厳しめに見ているのかなというふうに思っているんですけど、その中でとりわけ都市計画税、固定資産税が、ここが増加率を引き下げているのかなというふうに思うんですけど、この2.7%の市税の伸び、増加率を見込んだ背景とございますか、

根拠のような、堅めに見込んだのかどうか、そこら辺の何か背景は説明できるでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 査定のほうでは、なるべく出してもらうような形でやっておりますので、目いっぱい出していると財政課のほうでは思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 固定資産税と都市計画税が、前年度の歳入予算に比べますと、増加率が1%台、2%台ということで、市民税の伸び率よりも厳しく査定をされているような気がするんですけど、これは何か根拠があるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 根拠はないんですけど、入のほうも出のほうも決算を見越した実態に近いような形でなるべく出してもらうように各課のほうにはお願いして、査定のほうを行っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 都市計画税が約7億ぐらいたったと思いますけれども、これは目的財源ですので、どっかに充当されておると思うんですが、前年も資料要求しても、どこにこの予算上充当されておるのかということが資料が出されなかったのですけれども、今回はどのようになっておるのでしょうか、その充当先は。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 昨年度の回答と同じになるんですけども、決算のときにしっかり資料を出して御説明させていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 例えば競馬の環境整備だとかああいったものは、どの事業に幾らとかいうのをちゃんと積算して出しておると思うんですけど、都市計画税だけそういうことが

決算のときでないと分からないというのはどういうことなのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 都市計画税は目的税であります。一般財源ですので、国庫のような充当するという概念はありませんので、ですけど、大切な財源ではありますので、決算のときにしっかり充当のほうを御説明させていただきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 款がまたがるので、あえて総括でお聞きするんですけども、旧どんぐり学園の解体される予算が入っておりまして、解体した後というのは、市としては令和5年度どういうふうを考えているのかということと、あと、旧杵掛保育園も同様に、解体後、買取りというのもあるんですけども、その後のことはどういうふうなお考えでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 今の段階ではっきりは決まっていなんですけども、やっぱり地元の方、周辺の方とやっぱり相談をして、あと、地元の意向を伺って、今後、検討していきたいなというふうに思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 以上で、総括的な質疑を終わります。

以上で、一般会計の質疑を終結いたします。

ここで昼食のため、午後1時まで休憩いたします。

午前11時55分休憩

午後1時再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

特別会計及び企業会計について、説明及び質疑を行います。

議案第2号の国民健康保険特別会計について説明願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） それでは、令和5年度国民健康保険特別会計予算について御説明いたします。

予算書277ページをお願いします。

令和5年度国民健康保険特別会計の予算総額は62億1,810万円で、前年度と比較して3,470万円、0.6%の増となっております。

歳出から主なものを説明しますので、298、299ページを御覧ください。

1款 総務費、1項1目 一般管理費の右ページ2段目に保険給付事業で、前年度より322万4,000円の減額。

次のページ、中段、2項1目 賦課徴収費で、前年度より714万4,000円の減額です。これら減額の主な要因は、保険証の一斉更新及び法改正によるシステム改修費用の減額などによるものです。

続いて、302ページ、2款 保険給付費、1項 療養諸費は、被保険者数の減少により前年度より6,065万6,000円の減額としました。

306ページ、4項1目 出産育児一時金においては、被保険者が出産した場合の子ども1人当たりの支給額は増額いたしますが、出産見込み件数の減により前年度より減額計上とさせていただきます。

続いて、308ページ中段から311ページにかけての3款 国民健康保険事業費納付金は、前年度と比較し、1項 医療給付費納付金で8,471万9,000円の増額。2項 後期高齢者支援金等納付金で3,763万円の増額となるなど、3款全体で前年度より1億1,083万2,000円の増額となっております。

続いて、312ページ、4款2項 保健事業費では、前年度より298万2,000円の増額計上いたしました。増額の主な内容は、データヘルス計画策定業務委託料でございます。

続いて、歳入の説明をします。288、289ページをお願いします。

1款 国民健康保険税は、税率等の改定を予定し、合計で前年度より2,996万2,000円増額の12億3,735万7,000円を見込みました。

次に、290、291ページを御覧ください。

中段、3款1項1目 保険給付費等交付金、1節 普通交付金は、歳出での保険給付費の減に対応して、前年度より5,970万1,000円の減額です。

2節 特別交付金は給付以外の市が行う保健事業に対する交付金で、前年度より2,554万4,000円の増額を見込みます。

続いて、292、293ページを御覧ください。

5款1項1目 一般会計繰入金は、前年度より901万4,000円の減額です。1節、2節の

保険基盤安定繰入金は税率等改定の影響からいずれも増額を見込み、4節 職員給与費等繰入金、5節 出産育児一時金等繰入金は、歳出予算の総務費及び出産育児一時金の減額計上に伴い、前年度より減額としました。

一番下、7節 その他一般会計繰入金は、前年度とほぼ同額としています。

次のページ、2項1目 国民健康保険財政調整基金繰入金ですが、令和5年度は9,800万円を繰り入れ、被保険者の税負担増の抑制を図ります。

続いて、282ページをお願いします。

第2表 債務負担行為でございます。特定健康診査（集団）の委託事業は、集団方式で行う国保の特定健康診査業務を、令和6年度から令和8年度までの3年間、業務委託をする予定で、業者選定等、契約事務を進めるため、3,307万5,000円の債務負担を行うものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

議案第2号について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の291ページの真ん中の特別交付金の中で、県の繰入金（2号分）というのがかなり増額しているんですけども、その理由と、この県繰入金はこういったことで交付されるものなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 県繰入れ2号分というのは、給付費以外の保険者が行う様々な保健事業に対して県のほうから交付金がもらえるもので、例えば、レセプト点検をやってどういった効果があったか、効果額によってですとか、医療費通知を送っている特定健診の受診件数とか、そういったことで交付金が頂けるふうになっています。

令和5年度、令和4年度の当初予算よりも多く見積もりしましたのは、毎年、最低限のもので予算計上させていただいて、年度の途中で増額させていただくんですが、令和5年度については見込みということで、できるだけ多くの交付金を当初予算から見込んで計上をさせていただいたため、前年度より大幅増額の計上となったものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 295ページでお願いします。

一番上の基金の繰入金ですけれども、前年よりはほぼ倍増で増えておりますけれども、これ、現在高が幾らになっているかということと、それから、一般会計のほうではいろんな基金にどんどん積まれていますけれども、こちらの基金はそれとバランスが取れているのかどうなのかということをお伺いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 基金の現在高というのは、今回の4年度の補正予算もお願いしているんですけども、それを認めていただいて、それも積み立てた後、令和4年度の決算といいますか、締めたときでの現在残高で申し上げますと、2億3,301万6,464円というふうになります。

基金については、今回、当初予算で9,800万を予定しますと、残高としてすごく減ってきてしまって、保険税の上げていかなきゃいけない金額を抑制するのに使わせていただきたいということで、今回、補正をお願いさせてもらっているんですけども、来年度以降も、必要に応じて基金のほうについては積み増しをしていきたいと思っていますので、来年度の、来年度というのは令和6年度ですけど、6年度の場合によっては当初予算でしたり、5年度の途中で補正予算とかもあるかもしれません、そのときに必要な状況に応じてお願いさせていただきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書289ページ、各現年課税分と滞納繰越分です。

滞納繰越額が、それぞれ令和4年度の当初予算よりも金額が減っています。これは、令和3年、4年と、その年ごとの発生している滞納件数や額が減っているからなのか、滞納が生まれたけれども、解決が進んで金額が減っているのかというのは分かるでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 滞納繰越分でございますけれども、4年度も含めてですけれども、滞納整理が進んで滞納額が減っている見込みが立ちましたので、景気動向も踏まえておりますけれども、予算としては減らしたということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 293ページの一番下のその他繰入れですけれども、2億5,200万の。このうちの純粋な赤字繰入額というのはどれぐらいになるのかということと、これ、前年度、令和4年度と比較するとどれぐらい変わっているのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 令和5年度、その他一般会計繰入金の2億5,200万のうちの赤字繰入れ分として計上させていただいている分が、1億8,377万1,000円になります。

令和4年度の当初予算のときは、赤字繰入れ分として1億8,405万1,000円を計上させていただいておりましたので、若干減ってはおりますけれども、ほぼ同額というふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ほぼ近い金額でということなんですけれども、赤字繰入れの削減の計画が令和6年でゼロにするということなんですけど、同額ということは、そういう計画も延長するという可能性はあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 計画では令和6年度でという予定でしたけれども、ちょっと、今、6年度でゼロ円にできるかというのは厳しい状況かなとは思ってはいます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどと同じ289ページです。

現年課税分のところの参考の数字に、世帯数や被保険者数が書いてあります。この間、徐々に被保険者数は減ってきていると思っています。ただ、一般会計からのこれはよいことだと思いますけれど、繰入れの金額が積極的に繰入れされて、また、令和5年度の保険料の標準としても引上げになっています。この辺の状況というのは、どういう状況でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 被保険者数は見て御覧のとおり、年々減ってきております。特に、去年の秋から社会保険の適用の拡大が行われておりますので、被保険者数は、今、減ってきている状況です。

そういつて被保険者数は減ってきているんですけども、先ほど御説明さしていただいたように、事業費納付金のほうが昨年と比較して1億円以上も増えました。それを納めるに当たり、どうしても保険税のほうについても引上げを行わなきゃいけないという状況で、今回、もちろん計画的に赤字繰入れを減らしてくというのに加えて、そういった事情もあって、今回、引上げをさせていただいた形になります。

ただ、引上げについては昨今の物価高騰の状況もありますので、少し引上げの幅については検討させていただいて、圧縮するような形で今回の税率の改正の条例も上げさせていただいておりますけども、ああいった結果で設定をさせていただいたものになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 303ページの一般保険者療養給付費ですけども、この給付費は令和4年度と比べると下がっているんです。今度、309ページのほうの、こちらは医療給付費の納付金、県に納付する分ですけど、そっちのほうは上がっているんですけども、この辺りの理由というか、原理というか、どうしてこういうふうになるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 2款の保険療養諸費、保険給付費につきましては、来年度の被保険者数と1人当たり給付費が幾らぐらいというところから見込んで、算定をさせていただいております。

やはり被保数がかなり減ってきているので、全体額としては減額というふうな計上をさせていただいております。

そして、事業費納付金のほうですけども、内訳として医療給付分と後期高齢者支援分と介護納付金分とあるわけですけども、特に、この医療給付費分というのが医療費の支払いの部分になるんですが、来年度の予定の給付費がどのくらいかかるかというのを県が推定をしまして、そこから順に市町村に案分されてくる金額になるんですが、やはり主に去年1年の給付費の動向から来年度、5年度の給付費を推定しておりますので、3年度から4年度、非常に保険給付費が1人当たり伸びておりましたので、そういったことから、医療給付費分の納付金が増えているという状況です。

また、後期高齢者の支援金の納付金についても、75歳以上の方が増えて、対象者が増えておりまして、使われる医療費も増えておりますので、支援金も増えているという形で、今回このようになりました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 299ページをお願いします。

一番下のオンライン資格確認等運営負担金ですけども、これ、多分、医療機関でマイナンバーカードを保険証代わりに出したときに確認ができるようにというようなことかなと思います。この内容と、それから支出先、それから、市内のこれで対応できる医療機関数は今現在何%ぐらいになつとるのかということをお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） このオンライン資格確認等運営負担金につきましては、国全体で、委員のおっしゃるとおりマイナンバーカードを使つての保険診療の内容を見たり、資格を見たり、あと、診療の内容ですとか、健診の内容とかが本人で見えるようになるという、オンライン資格確認のシステムが全国で導入されているんですけども、その負担金という形になります。

令和5年度が初めてではなくて、実は。去年とか令和4年度もあったんですけども、4年度のときは、次のページの連合会負担金のところに実は金額として内訳で算定して、この中に入れておりました。ただ、始まってみてみれば、このオンライン資格確認等運営負担金は、愛知県の国保連合会に支払うものではなくて、中央会のほうに支払うものでしたので、今年度ちょっと予算を修正させていただいて、こちらのほうに上げさせていただきました。

それから、市内の医療機関で何%ぐらいがオンライン資格確認ができるかという御質問ですが、申し訳ありません、把握しておりません。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 305ページをお願いします。真ん中辺の一般被保険者高額介護合算療養費が倍増しておるわけですけれども、これ、たしか国保と介護の両方で一定の額を超えると寄附されるというようなものだったかなと思いますが、今回、増えたのは、これはどういうことでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 今回、高額介護合算療養費について増額させていただきましたのは、4年度もそうですし、前年度もそうだったんですけど、その年々によって金額は分からないんですけども、やはり高齢化してきて介護と合算して返す方が金額が徐々に増えてきておまして、4年度が、たしかもう今、足りなくて流用で対応させていただいてるような状況でしたので、5年度については金額を増額させていただいたものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ちょっと今の件で確認ですけど、これ、予想外に金額が少ない、もっと該当が多いかなと思うんですけど、意外と少なく、このくらいで済んでいるということですよ、この数字から見ると。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 国保の方は74歳までの方なので、やはりメインは75歳以上の後期高齢の方と介護の合算のほうだと思います。あちらですと、ちょうど実は今日、対象の方にお手紙を発送したとこなんですけれども、450人ぐらいの方に通知を送っております。

国保のほうについては、件数でちょっと何件かさっと出てきませんが、数十件ぐらい、10件、20件といった程度でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 309ページの納付金のことですけども、すみません、もしかしたら先ほど聞き漏らしていたかもしれないんですが、一般被保険者のほうは、そういう令和3年から4年の伸びで計算してということで、増額。後期高齢のほうは、75歳以上が増えてということだったんですが、311ページの介護納付金だけ減っているんですけども、この介護も何か増えるような気がするんですけど、ここが減っている理由はこういった計算なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 介護納付金分の納付金につきましては、介護納付金がそもそも当該年度概算で支払いをしまして、翌々年度に精算をするという形になっているんですけども、たまたま去年、去年というか、令和3年度の概算で払った金額と精算したところ概算額のほうが多く払っていたということがありまして、介護納付金についてですね、なので、5年度の算定のときには精算して戻ってくる分といいますか、その分がマイナスされましたので、5年度の概算金額分と3年度の精算分とで合わせて、結果的に5年度の支払額としてはマイナスとなったという形でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の件で、そうやって概算で払って精算ということですけども、これ、傾向としては介護のほうも増えておると思うんで、増えておるといような理解でよろしいでしょうか。たまたま来年度は前年度の概算が多かったから減になるけども、傾向としてはどうでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 介護納付金自体としては、介護保険のほう給付が伸びておりますので、もちろん全国で計算して豊明市のほうには案分してくる金額なんですけれども、全体としては増えているというふうに言えると思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じ311ページの下から2つ目の未受診者対策委託料、これが前年よりも少なくなっているんですけども、これ、何で減っているのかということと、受診率は、今、どれぐらいあるのか。国が60%に対して、なかなかそこまで行けてないような気がするんですけども、受診率はどれぐらいなのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 未受診者対策の委託料につきましては、未受診者の方をタイプ別に分けて、受診勧奨の手紙やはがきを送るっていうようなことをやっておるんですが、対象者がちょっと減ってきてといたしますか、被保険者数も減っておりますので、発送数、発送するはがきの数とかが減ってきておりまして、減額という形にしております。

それから、受診率なんですけど、今ですと最新で令和3年度の法定報告の数字があるんですけども、豊明市の場合は44.2%でした。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 次の、313ページをお願いします。

真ん中のところのデータヘルス計画策定業務委託料、これ、新規で350万ほど上がってますが、この計画がどういうものかということについての説明をちょっとお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） データヘルス計画につきましては、今現在、第2期のデータヘルス計画、第3期の特定健診保健指導の実施計画が、令和5年度までの実施計画期間で実施している最中でございます。

その中でもデータヘルス計画につきましては、医療費の受診の状況を、KDBといたしまして、国保データベースシステムのほうから、豊明市の課題ですとか、こういった病気が多いとか、そういったことを分析しまして、今後、じゃ、豊明市としてこういった事業を進めていったらいいかっていうのを立てる計画になります。来年度、5年度に策定をしまして、6年度から6年間の計画をまたつくる予定であります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて議案第2号の質疑を終わります。

続いて、議案第3号の土地取得特別会計について説明願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、令和5年度土地取得特別会計予算について御説明をいたします。

予算書の327ページを御覧ください。

令和5年度土地取得特別会計の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ70万円です。昨年度よりも10万円の減額となっております。

歳出から御説明いたしますので、338ページ、339ページを御覧ください。

上段、1款1項1目 土地取得事業では、当会計の所有する土地の維持管理をするための測量、くいの復元や草刈りなどをする費用として、測量設計等委託料に23万8,000円を計

上しております。

その下、2款1項1目 土地開発基金繰出事業では、現在、預け入れ中の定期預金から発生する預金利子を基金に積み立てる予算としまして、46万2,000円を計上しております。

続きまして、歳入を御説明いたしますので、1ページ戻りまして336、337ページを御覧ください。

1款 繰越金、1項1目1節 繰越金は、前年度と同額の1,000円となっております。

その下、2款 諸収入、1項1目1節 土地開発基金借入金では、当会計の所有する土地の維持管理をするための費用としまして、基金から23万7,000円を借入れするものです。

その下の段、2項1目1節 預金利子は46万2,000円で、前年度と比較しまして13万4,000円の減額です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

議案第3号について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ちょっと小さいほうから。339ページの上の測量設計等委託料というのは、先ほど維持管理というような話もありましたので、これは、測量はないということでしょうか。もしあるんなら、それ、どこかということをちょっと教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 測量として予算は計上しておりますが、特に予定としてはございません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 その下のほうの、下のほうのじゃなくて、そうだね、下の土地開発基金の現在高が幾らかということと、それから土地の所有面積、去年は7,800平米ということだったんですけど、現在は何平米あるかということをお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 基金の現在の総額としましては、9億8,598万8,557円となっております。これが令和5年3月31日末の予定残高となっております。

土地の平米数につきましては、移動がありませんので、7819.6平米ということです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 この7,800平米の土地を、今は土地取得特別会計で持っているわけですが、この中でもう既に行政財産として使ってしまったものがどのくらいあるのか、教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 行政財産という形では所管替えはしていないんですけれども、現在、使用しているものということでお答えをさせていただきたいと思います。

今現在ですと、大体550平米ぐらいの面積のところを、給食センターの中央調理場の駐車場という形で使っております。あとにつきましては、各所管の事業に基づいて所有しております土地となりまして、使用しているのはそことなっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ちょっと考え方としてお伺いしたいんですけど、土地取得特会というのは、そもそも地価が上がっているときに土地の先行取得ということで設けられた会計です。土地取得特会で持っている土地というのは、基本的には何も使っていない普通財産、それが使われているというのは、基本的には土地取得特会の趣旨としてはおかしいんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） ちょっと使われ始めた当初の経緯は不明なんですけれども、基本的には全て道路用地とか代替用地という形で指定はされております。ただ、土地の有効活用ということで、もしその事業が動き出したときには、すぐその土地につきましては明け渡していただくこととなりますけれども、現在、そういう形では使用している状況となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて議案第3号の質疑を終わります。

続いて、議案第4号の墓園事業特別会計について説明願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 議案第4号 令和5年度豊明市墓園事業特別会計予算の主なものについて御説明いたします。

当初予算書356、357ページを御覧ください。

上段、1款1項1目 一般管理費でございます。1,371万円を計上いたしまして、対前年度比で86万7,000円の増額となります。この要因といたしましては、右ページ3段目、一般管理事務事業の説明欄一番下、永代使用料還付金577万円は、前年度比で3基多い23基分と見込んでいるためのものがございます。

続きまして、歳入を御説明いたしますので、352、353ページをお開きください。

上段、一番上の永代使用料は、22区画分の961万4,000円計上し、対前年度比で71万9,000円の減額を見込んでいるものがございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

議案第4号について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 この353ページの一番下の基金繰入金ですけれども、現在、基金を繰り入れないと墓園の維持管理がしていけないというようなそういう状態になっておりますけれども、これ、国保のほうでいうと、いわゆる赤字繰入れということではないかと思うんですけど、これまで市外にも販売できるようにしたりとか、あるいは指定管理に管理を移行するとかしてはありますが、経営状況が好転していないということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 基金のほうから繰入れのほうを現在しておりますけれども、なるべく基金のほうから繰入れのほうを崩して入れることを少なくするために、市外の方への販売、ちょっと割増しして販売することも取り組んでいますし、指定管理のほうにして取り組んでいるんですけど、全て繰入金ゼロになるということのほうはなかなか難しく考えておるんですけど、今後、建設のほうでかかった償還金のほうを、今、払っているんですけど、それが令和8年度のほうで終了する予定ですので、その以後、この基金のほうは大幅に減るなどのほうの、この先のことをいろいろ変化が出てくる時期だと

いうふうに思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 その対策の1つとして行っている市外への販売……。市外にも広げたということですが、市外への販売は今回の予算では何基ぐらい見込んでおることになるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 明確に予算のほうに市外の方が何人というふうには見込んでおりませんが、今現在、市外の方が売ってようになって、7区画のほうを売っておりますので、その分のほうについては、引き続き、令和5年度のほうにも市外の方が購入していただけるというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 357ページの一般管理事務事業の中で、電算関係委託料っていうのが新しく出ているんですけども、令和5年度は何かそういったシステム改修とか何かあるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） こちらは、今現在、過去からあるんですけど、墓園管理システムというのがありまして、墓地の利用者の方たちの情報が入ったものです。それをシステム化したものです。それを、令和4年度までは内部のほうでやってまして、情報システム課のほうで保守とかをやっていたんですけども、それを令和5年度からは外部のほうに委託する形となりましたので、そのほうの保守料等を新規で上げさせていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 357ページの上の指定管理料550万ということで上がっております。前年より10万くらい安くなっておりますけれども、この指定管理をしたことによる効果があるのかということをお聞きなのですが、前年と比べると、今年度は、私が見て回った8

月21日だったかな、のときには草がぼうぼうの状態、それから、ヨドガワツツジなどの花木、これはもう花が終わったらすぐ剪定しなければならないものですが、それが剪定されなくて放置して、8月20日になってもまだ放置されていたというようなそういう状況ですけれども、これ、指定管理で、この550万ではそういうことはやれないということなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） お盆頃、夏頃、委員が言われたとおり、勅使墓園のほうの中の草のほうが例年よりか生えてまして、御迷惑をおかけしたことは大変申し訳ありません。

その後、私どものほうも指定管理業者のほうと話をしまして、こういったことがないように管理するような形でうちのほうも再三指導のほうをいたしました。それ以後、墓園のほうの中のほうの草のほうの維持管理については、着実にやれていると思っております。令和5年についても、引き続きその体制のほうを取っていきたいと思います。

あとは、草のほう……。木のほうか、の剪定のほうが夏頃、早くやられていなかったということだったんですけど、過去も確認したところ、毎年2月頃に刈るというほうでやっておりますので、その辺については例年と変わりはない状態です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 花木が、花が終わったら剪定をするというのは造園のイロハですので、今までおかしかったかもしれませんが、こういう指定管理者は高い技術を持っているということで指定管理にしたわけですので、それが、またこれからも続くというのはいかがなものかなと思いますが、どうでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 花を剪定する時期につきましては、委員の言われたとおりのほうの参考にさせていただいて、指定管理のほうと今後そういったことについて、よりよいそういう形にできるような形でしていきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の維持管理の部分で草刈りのことが出たんですけれども、墓園の中の水道のところの下が石、砂利になっているわけですが、あそこがよく詰まって……。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ふじえさん、予算のどこの部分のことですか。

○ふじえ真理子委員 今の維持管理の関係の指定管理に係るかなと思うんですが、先ほど草のことで、墓園の水道が何か所かあるんですけども、そこが結構水詰まりになっていたんですけど、その辺もこの草刈りのように、令和5年度、そういった部分もお声かけというのか、そもそもそういう水詰まりの情報とかは御存じで、令和5年度もきちんと対処できるでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 令和4年度も、これまでも草刈りのほうとかもやっていたいてるんですけど、墓園の中の清掃のほうもお願いしておりますので、時にはそのところ、詰まっているとこもあるかと思えます。これ、今までもあったと思えます。そういったことも令和4年度もありましたので、令和5年度につきましては、そういったことがこれまでどおり取り組んでもらうだけ、詳細を見るなどして注意していただくような形で指定管理のほうと話をしていきたいと思えます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 353ページが一番上の永代使用料ですけども、961万4,000円。まず、この予算は何基分なのかということと、これ、前年度と比較すると下がっているんですね、先ほど市外からのもので7基売れているということなんですけども、そういったものを入れてもやっぱり下がっているという、その理由は何なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） まず、令和5年度は22基分を見込んでおります。昨年の中でも出のほうが少ないのを計上しているんですけれども、市外の方が売れております、市外の方にも。その分、市内の方のほうの需要がちょっと減ってきたこともあって、市外の方が買ってくれることによって、今までどおりな基数ぐらいが、今、確保できているかなという形となっております。

ですので、市外の方が買ってくれる分、その分、純粹にその分がプラスになるというふうな形には今のところ傾向としてないので、そのほうを考慮した形で予算のほうを計上して

おります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて議案第4号の質疑を終わります。

続いて、議案第5号の介護保険特別会計について説明願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） それでは、令和5年度介護保険特別会計の予算について説明いたします。

予算書の365ページを御覧ください。

令和5年度の予算総額は53億9,560万円で、これは前年度と比較し、2億1,210万円の増額となっています。

それでは、まず、歳出から主なものについて御説明いたします。

392、393ページをお願いいたします。

1款1項1目 一般管理費の1億183万3,000円、1,599万3,000円の増額は、主に現状に合わせた人件費としたことに一般管理費事務事業の説明欄中頃の電算関係委託料の減額との相殺によるものです。

続いて、398、399ページを御覧ください。

上段、1款5項 計画策定委員会費355万8,000円の増額は、主に令和6年度からの3年間を計画期間とする第9期介護保険の事業計画等策定に係る委託料の増額340万5,000円によるものです。

次に、下の表、2款 保険給付費です。2款の給付費全体では、前年度比で1億8,730万円ほどの伸びとなっております。1項の介護サービス等諸費では、給付見込みから1目の居宅介護サービス給付費は、訪問サービス、それから、短期入所等の伸びを見込み、1億9,141万4,000円の増額。

最下段、3目 地域密着型介護サービス給付費は、主に地域密着型介護老人福祉施設の伸び、認知症対応型共同生活介護等の減の相殺で834万3,000円の増額。

ページをおめくりいただきまして、400、401ページをお願いいたします。

9目 居宅介護サービス計画給付費は、ケアマネ需要増に合わせ、578万4,000円の増額となっております。

続きまして、402、403ページの2項 介護予防サービス給付費です。

下段の表、一番下、5目 介護予防福祉用具購入費は、実績等を勘案し、114万5,000円

の増額。

続きまして、404、405ページをお願いいたします。

上の表、7目 介護予防サービス計画給付費は、予防サービス分のケアマネ需要増を見込み、78万1,000円の増額したことなど、介護予防サービス等諸費では、192万6,000円の増額となっております。

続いて、408、409ページをお願いいたします。

上の表、6項1目 特定入所者介護サービス給付費です。令和3年度の制度改正における限度額の変更の影響により、2,017万9,000円の減額としております。

続いて、410、411ページをお願いいたします。

3款 地域支援事業費です。款全体では、1,045万円ほどの増額となっております。

真ん中の表、上段、3款1項 介護予防・生活支援事業費は、給付見込みから719万6,000円の増としました。

414、415ページをお願いいたします。

中段、3款3項3目 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費の184万8,000円の増は、システムのネットワークの追加機能分の増額等によるものです。

418、419ページをお願いいたします。

4款1項1目 保健福祉事業費は836万円の減額です。今年度実施した、次期の介護保険計画策定に向けた高齢者実態把握調査に係る委託、それから、通信運搬費分の減額を反映したものとなっております。

422、423ページをお願いいたします。

7款2項1目 他会計繰出金は、重層的支援体制整備に伴い一般会計へ移行した事業の財源として、65歳以上の保険料及び40歳以上65歳未満の保険料である支払基金交付金の相当分を介護保険特別会計から繰り出すものです。

次に、歳入につきまして、主なものを御説明いたします。

373ページ、お願いいたします。

1款 介護保険料は12億4,548万7,000円で、前年度とほぼ同額としております。3款 国庫支出金の3,896万2,000円の増分、4款 支払基金交付金の5,265万9,000円の増、それから、5款 県支出金の2,658万4,000円の増は、それぞれ給付費の増額に対するものでございます。

7款 繰入金10億3,808万9,000円は、9,330万円の増額で給付費等の増加に対応するものでございます。

以上で、令和5年度介護保険特別会計の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

議案第5号について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 377ページの一番上の保険料ですけれども、現年度分の特別徴収の保険料が減少しているんですけども、被保険者数で見ると増えているんです。それから、その下の普通徴収のほうは増額しているんですけども、人数は減っていると。これは何かあべこべになっているような気がするんですけども、これ、たまたまなのかどうという原理でこういうふうになっているのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） まず、現年度分の特別徴収保険料のほうでございますが、段階別に人数を見てこの金額を出しておりますが、昨年度と比較しまして、段階の高い、いわゆる所得の高い層のほうの人数が、令和5年度の予算組みのほうが増加していることに伴いまして、若干の予算の減という形になっております。

それから、普通徴収のほうはその逆の形になっておりまして、段階の高い方の人数が増え、段階の低い方が減っているという形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 395ページの一番下、介護認定審査委員会報酬、これに絡んでお聞きするわけですが、後のほうで出てきます施設介護とか、あるいは居宅介護がありますけれども、傾向として居宅介護が増え、施設介護は減って、今年度の予算ですとほぼ横ばいですかね、傾向としてはそういうような傾向があるんですけども、この介護認定の審査の段階で何かそういうふうになるような認定基準の、何ですか、変更とか、そういったようなことがあったのでしょうか。あるのでしょうか。これ、今年度に限りませんか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 特に審査の段階で、居宅へのほう、それから施設、どちらか等へ誘導……。そちらのほうのサービスへ、例えば誘導するというような形は取っておりませんで、やはり施設、それからサービスを利用する方の御意向ということを決めておりますので、そのような形はないというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 この予算のどこというよりは全体に関わることですけども、包括支援ですか、豊明の介護予防は日本一だとかというようなことがよく言われておりますけれども、そのことがこの予算のどこにどういうふうに反映しておるのかというようなことは、何か分析されておりますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 介護日本一というのが直接的に反映しているということではございませんが、いわゆるインセンティブ交付金というものがございまして、保健所機能強化推進交付金、それから、保険者の努力支援交付金、こういったような制度がございまして、これが主な指標、例えばケアマネジメントの質の向上であるとか、他職種連携による地域ケア会議の活性化、このような指標に基づいて国のほうがそれを点数化して、それに基づいて交付金が支払われるというような制度がございまして。

本市は、市役所の中で全国で一番ということになっておりますので、それを反映した交付金が支払われているということを考えますと、そういった面では1位ということが反映されていると申し上げられると思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 反映されているのは、この、今、歳入の交付金があるということでしたけれども、何ページのどこがどのくらい増えているとかというのは、そういう形での説明はできますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 予算上は……。失礼しました。ページで申しますと、予算書380、381、御覧ください。

上の表、3款2項の4目、それから5目、これが該当いたしますが、歳入の予算上は両方とも500万という形で計上しておりますが、これ、また、次の評価に基づきまして、次年度、5年度どういう形になるかと。当然、市がいい評価を出したからこの額というわけではなく、全国の自治体の中で当然評価が高いというような自治体が増えれば、この交付金

は減ってまいります。そういうような制度でございますので、ここで、本市の場合はこの額というふうに予算計上するのが難しいという面もございまして、こういった形で予算計上をさせていただいているということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 393ページの一番上の人件費ですけれども、一般職が2人増員して、金額も2,000万近く上がっているんですけども、今回、何かこの介護特会の中で増える業務だったりとか、何か取り組むことがあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） この給与にございます人数につきましては、あくまでも予算の策定上の状況、それから、各種手当につきましては、あくまでも属人的なものでございまして、特にこういった事業というようなものが増えるとか、そういったものを反映したものではありません。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかに……。

土屋副市長。

○副市長（土屋正典君） 少し補足させていただきますと、これまでも繰り返し説明させていただきましても、新年度の人件費にあっては、予算策定時の現状ベースにその他の事情を加味して仮定の人数をつけてやっていくという形になっております。

ここの会計に関しましては、予算比較でいくと2人ということになりますけれども、4年度の重層支援に伴う機構改革等の関係で、事務所のやりくりなんかの関係で、一般会計から2人こっちに、特会のほうに移っておりますので、その分が、いわば現状に合わせた、4年度が10人ですので、現状に合わせた予算策定というふうに御理解いただければよろしいかと思えます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書377ページです。

先ほど国保のほうでも伺ったことと同じことを、一緒だと思います。

先ほど御答弁だった、現年度課税の特別と普通については分かりました。その下の滞納

徴収に関して、この介護特会でいうと、令和4年度と比べると滞納繰越分の金額が増えて
います。この状況はどういった状況なのでしょう。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 介護特会については、100万円ほどプラスしております。

滞納額については、総額としては1,000万程度ということで、どちらかというと、実績に
合わせた予算計上にさしていただいたということでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 手元の資料があんまり詳しいのはないんですけど、20年と21年で、こ
れ、数字が資料、間違っなければ、実際に滞納した被保険者の人数は半分になっている
けど、件数としてはあんまり変わらないという感じで、特定の人が何かかなりの濃度で滞
納するみたいな、そういう状況とかがあることと何かこの現象というのは何か関係はある
のでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 滞納額も減ってきていて、滞納者の方についても限定的
になってきておりますので、ある部分、どういうふうに納付いただくかというところが実
績につながってくるというようなことにもなりますので、なかなか生活状況とか御相談し
ながら納付いただくということになりますので、今、そういった状況で介護保険の滞納繰
越分については計上させていただいたということでございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の379ページの一番上の介護手数料のところ2行あるんで
すが、令和4年度は高齢者見守りサポート事業手数料で100万円あったかと思うんですが、
それと、415の下のところの家族介護支援事業の中の高齢者見守りフォロー事業委託料、こ
れ、見るかな、394万円余、ここの関係を説明してください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） まず、379ページの介護手数料の減でございますが、見守りサ
ポート事業、現在と業者が変わっておりまして、以前は利用者負担分を市で歳入しておつ

たことから、この100万8,000円分をここで見ておったものですから、それがまるっとなくなって、このような額になっているというところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今は、今はというか、令和5年度は、手数料はどういうふうになるんですか。もうちょっと補足してください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 現在は、利用者からの料金徴収も事業者のほうで行っておることから、歳入は計上してないということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の見守りサポートですけども、415ページの下ですね。今まで高齢者の見守りサポート事業があったんですけども、それがフォロー事業になってるんですけども、まず、これで事業の中身は違うのかどうかということと、もう少し具体的にこの見守りフォロー事業というのはどういったことをされる事業なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） この事業名がちょっと煩わしくて大変恐縮なんですけど、先ほどのちょっと御説明した中で、業者が年度の途中で変わっておりました。ですので、2つの事業、まず、古いほうの事業者に対する料金徴収の委託というのもこの事業の中に入っておったものですから、それで、それと見分けるために現在の見守りの事業が見守りフォロー事業委託、こちらの名前になって出ているということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 具体的にフォロー事業というのは、どういったことをされる事業なんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） これは、高齢者の方の御自宅に機器を設置しまして、その中

で、例えば、長い間トイレの扉が開いていないであるとか、そういうような機械である程度その方の動きが分かるというようなことがございます。それから、その方がある程度動きが全くないというようなことがなると、警備員さんがそこに駆けつけるというようなことをするサービスがこの見守りフォロー事業という形でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 関連ですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認です。

そういった高齢者の方の動きを確認するというのは、サポート事業とフォロー事業とそういう中身は一緒だというふうな認識ですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 業者さんが御自宅まで駆けつけるかどうかというようなところが前のサービスはちょっと違いましたが、基本的な立てつけは同じでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ここで会議の途中ですが、10分間の休憩といたします。

午後 2 時 4 分休憩

午後 2 時 1 4 分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

質疑のある方は挙手願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 397ページ、お願いします。

一番上の要介護認定調査業務1,552万ですけれども、これ、要介護の申請が出てくると、こうやって調査をして、それが審査会上げられて、決定されていくという流れかなと思うんですけれども、今年度、この申請から認定までに非常に時間がかかるというような苦情をいろいろ耳にしましたけれども、要介護認定調査というのは人数は十分足りとるんでしょうかということと、それから、資格等はどのような資格を持って見えるような方がやって見えるのか、ちょっと教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 人数的にはこの予算の中では9名分の予算を上げておりますが、現状の体制で回せていけるというふうに考えております。

それから、資格については、すみません、ちょっと後ほどでよろしいでしょうか。申し訳ありません。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 417ページの下の方の認知症総合支援事業の中の、一番下と下から2番目の認知症総合支援事業委託料と認知症地域支援推進事業委託料、こちらの内容を教えてくださいたいんですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） こちらは、包括支援センターのほうに委託をしております、例えばサポーター養成であるとか、認知症のカフェであるとかというものを、運営するためにお願いしている委託料となっております。

それで、上段のものと下段のものと何が違うのかという点につきましては、この認知症に関する業務に関しましては、南のほうがいわゆる旗振り役を行っておりますので、そこで取りまとめと中心的な役割を担う南のほう为上のほうですね、それ以外の包括2か所についてが下の段というような形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ごめんなさい、今のところで、すなわちその1,100万のほうは南部で、その下の金額の少ない500万ちょいのやつが北部と中部という、そういう理解でいいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） おっしゃるとおりでございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 先ほどの資格の件に関しましてです。申し訳ありませんでした。

保健師、あるいは看護師、それから、介護福祉に関しましては介護支援専門員、それから、社会福祉士となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書の415ページです。

権利擁護事業の成年後見人、令和4年度の当初予算よりも増額してます。金額は別にして、増額の率はそれなりかと思うので、状況と、あと、見込んでる件数の増加なんかについてお話しいただければと思います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） こちら、成年後見の報酬助成に関しまして、最近、件数の増加がかなり顕著になっております。現状、もう既に今年度に関しましては、既にもう9件ということになっております。

予算上は、要綱で月2万8,000円、それをフルで10人分という形で予算を取りあえず盛らせていただいたのが、今回の予算という形になっております。現状が、今年度、今時点で既にもう9件という形になっているところが現状でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 399ページをお願いします。

一番上の計画策定委員会事業のところですけども、介護保険事業計画が新たに策定されるということで、委員の報酬が前よりもずっと増えて上がっております。

私がたまたま参加している委員会、あるいは、これまでに参加した委員会などは、発言者が非常に限られていて、ほとんど何にも発言しないような人がいっぱい委員の中にいるんですけど、この委員というのはどういう構成になってますか、この計画策定委員は。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 福祉関係に明るい大学の先生であるとか、あと、医師等の医療者、それから福祉関係の方、あと、それから、民生委員さんと地域のことを分かっている方等が入っております。14名という形で構成しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 409ページの一番上をお願いします。

特定入所者介護サービス給付費で、これが非常に減っていると。先ほど説明で、制度改正があって限度額の変更というようなことは言われましたけれども、多分、サービスを受ける限度額が上がって、そのことでサービスから漏れた人が出てくるから予算が減るといようなことかなと思います。特定入所者というのがよく分からないので、それがそもそも何かということと、それから、限度額はどの限度額がどういうふうに変ったかということをおまじつと御説明お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 低所得の方に対する食費と居住費等を軽減するものでございます。

一番区分が変わりました、第3段階ということで、若干所得の高い方の層のところなんです。変わる前に関しましては、例えば、短期入所の方であれば食費が650円という負担であったものが、制度変更後、この3段階というところも2つに分かれまして、収入額によって、80万超120万の方であれば食費は650円から1,000円へ、220万超える方は1,300円へという形で負担が増えるという形になった制度でございます。これは、令和3年の8月から適用されているものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 419ページをお願いします。

一番下の介護準備基金積立のところでお聞きしたいんですが、この介護給付基金準備積立金、今年度、令和5年度予算ですから令和5年度の最初のときの現在高がどのくらいになるのかということと、それから、例えば財政調整基金なんかですと、これは標準財政規模の何%とかというのは、たしかそういうような形で目安みたいなものがあると思うんですけど、この介護給付の準備基金というのはそういうものはないのかどうなのか、その2点をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） まず、基金残高のほうでございますが、これはこの3月補正、お認めいただければといった数字でございますが、今年度末で11億2,331万4,879円という形となります。

それから、この基金のほうなんですけれども、介護のほうの基金の目的といたしまして

は、計画期間3年間の中で収入による増減の影響が出ず、制度を安定的に回すためにというものが制度の趣旨でございますので、委員のおっしゃるような、いわゆる一定の基準とかいったようなものは特にないというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 今回の答弁の確認ですけれども、3年間の中での増減を泳げると言ったらあれですけど、やりくりできるぐらいの、言ってみればそのぐらいの規模のものでいいという、そういうような理解でよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 原則といたしまして、私が申し上げたとおりでございます。

ただ、将来的な介護保険制度をうまく運営していくためにということで、必要な残高というものもあるかと思っておりますので、今後、次年度、また、次期の計画の策定に入りますので、その辺のことも踏まえていろいろ検証していきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ちょっと再々確認で申し訳ないですけど、介護保険ってもう国のほうでいろんなことを全部決めてきちぎちに縛られている保険だと思うんですけど、その中でこの積立金をどのくらいにすべきだというような、そういう指導なり指針なりが全くないということなんでしょうかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） おっしゃるとおりでございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて議案第5号の質疑を終わります。

続いて、議案第6号の後期高齢者医療特別会計について説明願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） それでは、令和5年度後期高齢者医療特別会計について御説明いたします。

予算書の435ページをお願いします。

令和5年度後期高齢者医療特別会計の予算総額は12億4,850万円で、前年度と比較して360万円、0.3%の減となっております。

歳出から主なものを説明します。

450、451ページを御覧ください。

1款 総務費、1項1目 一般管理費で、前年度より222万7,000円の減額です。減額の主な内容は通信運搬費で、令和4年度は保険証の一斉更新を2回行いましたが、令和5年度は年1回に戻ることにによるものです。

また、説明欄の下から2つ、下2つですね、備品購入費と電算関係委託料は、後期高齢者医療広域連合標準システム用の機器の更新費用を計上したものでございます。

次のページ、3項1目 保健費で、前年度と比較し、342万1,000円の増額です。増額の主な内容は後期高齢者健診委託料で、被保険者数の増により受診者数の増が見込まれることから、増額計上といたしました。

下段、2款1項1目 後期高齢者医療広域連合納付金は、被保険者から徴収した保険料と低所得者軽減分に対する繰入金を合わせて後期高齢者医療広域連合に納付するもので、前年度より554万6,000円の減額見込みです。

続いて、歳入の説明をいたします。

444、445ページを御覧ください。

1款 後期高齢者医療保険料は、合計で10億1,903万2,000円を見込み、これは被保険者1万700人分の保険料です。

その下、2款 繰入金は、事務費相当額及び低所得者の保険料軽減分を市が負担するもので、前年度と比較し、合計で641万4,000円の増額を見込みます。

2枚めくった448、449ページをお願いします。

上段の表、4款3項 後期高齢者医療広域連合支出金は、後期高齢者の健診や一体的実施事業、歯科健診等の費用の一部を愛知県後期高齢者医療広域連合が負担、補助するものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

議案第6号について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 453ページの一番下の納付金についてですけども、この後期高齢者医療広域連合への負担金、これは最近は下がってます。先ほどの国保のほうの後期高齢の

支援金の納付金は上がっていたんですけども、こっちのほうが下がっている理由。それは、後期高齢のそういう負担率が変わったこともあると思うんですけども、そういったことの影響もあるのかどうか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） この後期高齢者の広域連合納付金につきましては、市が後期高齢者の方から徴収した保険料と、あと、軽減した方の分で繰り入れた分、基盤安定繰入金分を、あと、ついでに言うなら延滞金ですね、徴収した延滞金分も広域連合に支払う、納付するっていう性質のもので、後期高齢者の方の医療費の部分の負担の割合とかそういったものは全然関係がなくて、あくまで集めた保険料を納めるという性質のものでございます。

今回、減額になっているのは、保険料が、見ていただければ分かると思うんですけど、去年の予算と比較して減額になっているので、こちらの納付金のほうも減額となっているということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 昨年10月から改定された窓口負担の負担割合の変更によるこの保険全体の主歳入のことと、今の令和5年度それぞれの市町に示された保険料についての関わりというのは、何か関係はあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） まず、2割負担が去年の秋から始まったわけですが、そちらについては給付の支払いのほうになるんですけども、そちらは県の広域連合のほうでやっておりますので、市町村のほうは一切関与しておりませんので、こちらの市の後期高齢者の特別会計には何ら関わりがないといたしますか、関係がない部分になります。

保険料につきましては、後期高齢者は2年に1回ずつ見直しをするんですが、4年度と5年度は同じ料率でございますので、それについてもこちら5年度の予算には反映はされておられません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 451ページの一番下の表、徴収事業のところですけど、2割負担とかそういうのが変わってきて、下から2つ目の電算関係委託料が上がってきたのかなと思ったんですけど、何か違うなと思って、この電算関係委託料が2割ほど上がっているのは、これはどうしてなのでしょう。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 近頃の物価高によりいろんな業務、あと用紙、紙ですね、紙代が値上がったことによる増額です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 445ページの特別徴収保険料の予算ですけど、特別徴収は去年が7,210人が今年度7,490人ということで、人数が増えております。したがって、保険料も770万増えているんですけど、普通徴収保険料が去年が3,090人で今年が3,210人、ここの保険者数も増えているんですけど、逆に予算が1,638万4,000円減っているんですけど、これはどういう意味で減っているのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 人数につきましては、75歳以上の方が、ちょうど団塊の世代の方が、今、75歳に到達していらっしゃいますので、ここ数年増えております。75歳に到達した年は普通徴収なんですけども、翌年、特別徴収に移行していく方がほとんどですので、年々、特別徴収の人数は増えていきます。

金額につきましては、先ほども申し上げましたが、令和4年度のときに保険料率に変更されておりまして、4年度の当初予算を積算したときには、まだ広域連合が試算で出した保険料率で当初予算をつくらせていただいております。ところが、実際、4年度になって保険料率が試算のときよりもかなり減ってきましたので、特に所得割とかが減ってきましたので、そういう言い方をすれば、令和4年度は実際の金額よりもかなり膨らました予算になっていたということなんですけども、令和5年については、確定している保険料率で算定させていただきましたので、結果的にこういった増減が出たという形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 451ページが一番下の表の、先ほどの電算関係委託料407万をちょっともう一度ちょっと確認するんですけど、何にもシステムとかは変更せずに、物価高とか紙とおっしゃってたかな、これで18%も上がるんですか。理解にちょっと苦しんだんですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 特にシステム改修も予定しておりませんので、やる内容としては令和4年度と変わりません。

ただ、やはり被保険者数が減って……。減ってはいない、増えているほうですね、こちらは、増えてますので、発注する紙の量とかがかなり増えております。そのために、金額として乗ってきているという状況になります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて議案第6号の質疑を終わります。

続いて、議案第7号の水上太陽光発電事業特別会計について説明願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 議案第7号 令和5年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計予算の主なものについて御説明します。

当初予算書474、475ページをお開きください。

上段、1款1項1目 一般管理費でございます。2,627万3,000円を計上し、対前年度比390万3,000円の増額となります。主な増額の要因といたしましては、右ページ、一般管理事務事業の説明欄、上から4行目、修繕料は対前年度比103万円の増額、これは太陽光パネルの修理によるもの、次に6行目、太陽光発電保守管理委託料は、対前年度比81万4,000円の増額、これは、太陽光パネル間の除草作業の日数を増やすことによるものです。

1枚おめくりいただき、476、477ページを御覧ください。

中段、4款1項1目 他会計繰出金でございますが、839万1,000円を計上し、対前年度比110万2,000円の減額となります。

続きまして、歳入の主なものを御説明いたしますので、470、471ページをお開きください。

上段、右ページ説明欄一番上の売電収入は、電力会社への売電による収入でございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

議案第7号について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 475ページをお願いします。

上から2つ目の太陽光発電事業管理基金積立金300万ですけれども、市民の方から、ソーラーを推進するのはいいけども、リサイクルのことはちゃんと市は考えとるのかというようなことを言われましたのでお聞きするんですけど、この水上太陽光の発電については、この積立金でそういうリサイクルがちゃんとできるかどうかということと、それから、そもそもリサイクルの技術というのは、もう今、確立しとるのかどうかということと、それから、もう一点、今の積立て額は幾らかという、その3点お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） まず、現在の積立て額なんですけれども、令和4年度末で550万円となる見込みでございます。

あと、リサイクルできるかということでございますが、この積立金をもってリサイクルをする予定となっております。先ほど言いましたとおり、令和4年度末には550万円の積立てとなるんですけれども、FITの契約期間が終わります20年後のときが令和18年度末になるんですけれども、その時点のときに一度、その後、太陽光発電のほうを引き続きやるのか、そこで終わらせるために処分するのにリサイクルにすることがあるんですけど、そういったときのための積立てを見込んでおまして、そこが、このまま毎年300万円ずつ積んでいきますと、約、令和18年度末につきましては4,750万円積立てができていう形になっております。

そういったことのこの金額の中で、最終的に更新をするのか、パネルのほうをリサイクルするのかということにつきましては、この中の積立てでやっておきます。その中の積立てでやっているふうというふうに見込んでおります。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（1点の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 リサイクル技術というのは、今は確立しとるのかどうかということですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） リサイクルのほうは、国のほうから指導につきましても、皆 F I T が終わる期間までの10年前から積立てを始めて、リサイクルに備えなさいというふうな指導が来ております。それに合わせて、事業者のほうについてもリサイクルのほうについては研究のほうを進めているというふうに聞いております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 471ページが一番上、売電収入ですけど、これ、僅かですけども、昨年度比で減らしているのは、これは理由は何だったのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） こちらは、過去3年分と今年度の進行形の途中なんです。そのとこの3か年の平均のほうを取って機械的な形を出している形で、たまたま少し下がっているという形なんですけれども、今年度の見込みといたしましては、昨年度よりも1割増で収入のほうが増えるかなというふうに見込んでおります。これは、昨年、予算を認めていただいた、草取りのほうの効果が出ているというふうに感じております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 一応、こういう予算で聞く話じゃないかもしれないですけど、F I T で契約して売電するということの答弁が先ほどもあったと思うので、ということは、太陽光発電で生み出されたこの電力というのも、別に昨今の電力の需給関係の高騰からは何か高い値段で買われるということは当然ないわけですよ。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 豊明市のこの水上メガソーラーのほうは、平成29年のほうに F I T、固定買取制度のほうに申し込んでおります。それは20年間変わりませんので、金額の変動はございません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて議案第7号の質疑を終わります。

続いて、議案第8号の下水道事業会計について説明願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） それでは、議案第8号 令和5年度豊明市下水道事業会計予算につきまして御説明いたします。

予算書の481ページをお開きください。

地方公営企業法施行規則に規定する予算書様式に準じて作成した予算書にて、説明してまいります。

第1条は総則を、第2条は業務の予定量を記載のとおりとするものです。その中で、第2条の2、年間総排水量ですが、処理を予定する年間の汚水量で627万3,500立米、若干の人口減少、節水傾向を鑑みまして、昨年度比でマイナス7万2,500立米、1.1%の減を予定しています。

第3条は収益的収入及び支出の予定額を定めるもので、収入の第1款 下水道事業収益は12億6,724万5,000円、昨年度比で605万円、0.5%の減です。

支出の第1款 下水道事業費用は、1項 営業費用から4項 予備費までを合計いたしまして、収入と同額の12億6,724万5,000円と定めております。

第4条は、資本的収入及び支出の予定額を定めるもので、収入の第1款 資本的収入は6億945万5,000円、昨年度比で2億5,471万円、71.8%の増です。

1枚おめくりください。

支出の第1款 資本的支出は9億1,605万5,000円、昨年度比で2億6,645万円、41%の増です。

1枚ページを戻っていただきまして、481ページ、再度、お願いいたします。

第4条の前段部分で、歳入不足分3億660万円、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,431万3,000円、過年度分損益勘定留保資金6,820万5,000円及び、当年度分損益勘定留保資金2億2,408万2,000円で補填するものとしております。

1枚ページをおめくりいただきまして、482ページを御覧ください。

中段の第5条は企業債について定めるもので、限度額は、当該年度に実施する工事委託負担金の起債予定額合計で2億6,970万円と定めています。

第6条は、一時借入金の限度額を1億円と定めるものです。

第7条は、予定支出の各項の経費の金額の流用については、営業費用と営業外費用間の流用ができることを定めるものであります。

第8条は、議会の議決を得なければ流用することができない経費について、職員給与費

とするものです。

第9条は、一般会計からの繰入金である他会計補助金を2億3,251万9,000円とするものです。

なお、487ページ以降に豊明市下水道事業会計予算説明書を添付しております。予算の実施計画、事項別明細書等、詳細が記載されておりますので、御参照いただきますようよろしくお願いいたします。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

議案第8号について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 481ページで業務の予定量というところですけども、まず、接続戸数が増えています。ですけど、この年間の総排水量というのは減っているんですけども、戸数が増えたのに排水量が減るといのは、どういうことなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） 先ほどの説明でも少し申し上げましたけども、若干、豊明市の人口も減っておりますし、節水傾向というのがございますので、見込みとしましては、戸数は若干増えておりますけども、水量としては減っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 517ページの下から5つ目の管きょ等築造工事費が、かなり増額になっています。資料の3の14で、どういった工事があるかという内訳を出していただきましたけども、この中で多いのが、この汚水管きょ改良工事というところで、1つのところですけど、その他の改良工事で約200メートルってあるんですけども、これがどこを指しているのかということと、これは、なぜこういった改修というのができているのか、計画でそういうふうになっているのかとか、そういったところはどのようなふうに進めているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） 資料のナンバー3の14の2の件ですが、汚水管きょ改良工

事として上げさせていただいております。

これは既存の管渠等の改良という意味で別出しといいますか、設計額が分かるといけませんので、何個か固めて計上しております。

一番大きなものは1行目の直径800の管を入れ替えるという工事、これがちょっと大きいんですけども、その他改良工事といたしましては、令和元年に策定しましたストックマネジメント計画におきまして、5年計画で点検、調査、悪いところがあったら直していくということを始めております。

実際、どこをやるかという改良計画はまだ出来上がってはおりませんが、点検して緊急度が高いところは管更生工事ですとか、入替え工事というのが必要になりますので、そのための工事費の計上であります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー3の⑬で、先ほどの話だと5番目の計画の修正業務というのがあるんですけども、これはどういったところをなぜ修正、どのように修正するのかということと、なぜ修正するのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） 令和2年度に農排統合いたしまして、農排を含めた範囲での計画を策定する必要がありました。

それと、点検調査結果を基に改築計画を乗していこうということで、修正が必要となっておりますので、予算計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ資料です。ナンバー3の⑬、管きょ設計委託の内訳、資料ありがとうございます。

7番、一番下の資材価格調査業務委託があるんですけども、この価格調査というのは職員では無理なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） 資材価格調査、昨今の会計検査等でも指摘されております

けども、適正な単価、見積りだけでは駄目ですよということで、公的な機関で使用する資材単価の調査をしてくださいということをご指摘を受けております。

主に管更生とか、特殊材料、内面から樹脂系の材料を使ったりとか、見積りでは特定の業者しか取れないような見積りを公的な機関に資材調査していただいて、市場価格を調査するというのを経費として計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 513ページの真ん中あたりの18の負担金で、境川流域下水の負担金ですけども、まず、これが増額してきてるんですけども、その理由と、この維持管理費負担金とこの下の資本費負担金の違い、それからもう一つ、519ページの一番上の今度は4条予算のほうですけども、こっちのほうでも流域下水の建設費負担金というのはあるんですけども、これのまず違いを教えてくださいたいのと、これが増えてきてる理由をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） 県に払う、払うといいますが、お支払いする負担金ですけども、維持管理的な部分で維持管理費負担金といまして、これは流す汚水量に応じて単価を掛けて決定する負担金でございます。

もう一つ、維持管理的なところで資本費負担金というのがございまして、これは流域下水道の処理施設、浄化センターですけども、これの減価償却費と建設の際の起債の利子に値します。減価償却費と利子を払うものが、資本費負担金と呼ばれております。

4条のほうにある建設負担金といえますのは、流域下水道の建設事業費を市町村が負担する負担金でございます。あと、維持管理負担金が金額が増えているということに関しましては、県からの通知によりまして、5年度予算としては予算単価が3円ほど上がっております。立米当たりの単価が3円ほど上がって通知を受けておりますので、その部分とご考慮いただければ結構です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 517ページ。予算書517の15番の工事請負費の管きょ等築造工事費で2億8,099万4,000円、この明細が別紙で頂いた資料の3の⑭がその明細という理解でよいか

どうか、まずこの点、お伺いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） おっしゃるとおりで結構です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 であるなら、ここのちょっと4番目にマンホールトイレ設置工事、子持松で5基ってあるんですけど、これはどういう……。子持松というと、ここの市役所のことを指しているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） 防災、災害時の本部であります豊明市役所にはつけられませんので、すぐ近くの郷中公園を予定しておりまして、公園内に5基のマンホールトイレを設置する工事を予定しております。

以上です。

（すみません、聞こえなかったの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 郷中公園。

（郷中公園ですね、分かりましたの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございせんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 519ページの一番上の流域下水道建設費負担金のところで、先ほど説明があったと思うんですけども、県の単価が3円上がったから年々上昇してきているというようなことでしたけれども、算術的には、それ、よく分かりますけど、県の単価がそもそも3円上がったのは県がどういうことをやってこの3円上げることになったのか、その辺の説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） まず、519ページの建設負担金というのは、維持管理でございせんので、施設の建設の関することで若干上がっておりますけれども、工事内容によって負担額が変わってきております。

維持管理費の増大というのは、やはり処理に要する電気代ですとか、処理費、薬剤等の高騰によるもので単価を上げているということを聞いております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて議案第8号の質疑を終わります。

以上で、各議案の質疑を終結いたしました。

これより討論に入ります。

討論は一括して行っていただきますが、本会議でも当然討論ができ、重複することにもなりますので、できれば簡潔にお願いします。

なお、各会派で取りまとめも必要と思いますので、10分ぐらいでいかがでしょうか。10分、いかがですか。5分でいいですか。3時5分まででよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしとのことで、3時5分まで各会派で取りまとめをお願いいたします。3時5分まで休憩といたします。

午後2時57分休憩

午後3時5分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

討論のある方は挙手願います。

毛受委員。

○毛受明宏委員 議案第1号から議案第8号、全て賛成ということで、主要事業の中にも市街地開発事業、また、治水対策事業と、下流域の私どもの地域に対してはいろいろと、影響が出ないような対策をしっかりとっていただけて和らげていただく、それが1つお願いしたいというところと、あと、公園の整備とかいろいろありますが、今回は肉づけ、骨格予算ということがありますので、また、新しく改選された後、市民のための肉づけが出てくることをお願い申し上げまして、賛成といたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 議案第1号と第2号に反対、第3号は賛成、あと、議案第4号から6号も反対、7号、8号は賛成したいと思います。

詳しくは本会議で述べますけども、1号と2号、5号、6号については、やはり市民の生活、暮らしに寄り添えていない、コロナ禍や物価高騰ですけども、生活の苦しい方々に対してしっかりと寄り添えていない予算でありました。1号と2号と5号と6号ですね。

4号については、指定管理が前提となっていますけども、今、整備ができていないとい

うこともあるので、反対したいと思います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 議案第1号から議案第8号までの令和5年度の予算、全てに賛成をします。詳しいことは本会議で述べさせていただきます。

子ども支援に手厚くなっているということで、審査させていただきました。適切に遂行していただくように、お願いしたいと思います。詳しくは本会議で述べます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 令和5年度豊明市一般会計特別会計企業会計予算書で、議案第1号から8号まで全て賛成といたします。

詳しくは本会議場で話しますので、今回は骨格予算ですので、よろしくお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 議案第1号から第8号まで、賛成で討論させていただきます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 委員の皆さん、ちょっと静粛にしてください。

○一色美智子委員 骨格予算ですが、全て必要ですので賛成といたします。詳しくは本会議場で行います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 第1号から第8号まで、全て賛成の立場で討論させていただきます。

骨格予算、皆さんがおっしゃるように骨格予算です。どうしても必要な予算の計上でございますので、賛成としたいと思います。詳しくは、また、本会議場でさせていただければと思います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 議案第1号、2号に反対、そのほかは賛成とします。詳しくは本会議場で討論いたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 令和5年度の予算について、議案1号、3号、4号、それから7号、

8号に賛成します。2号、5号、6号について反対をします。

一般会計について、賛成ではありますが、お話ししたいことは、1つは、やはり公園を中心に次々と進む直営の民営化についてです。特に公園については、この1年間、初年度とはいえ、住民から具体的な苦情などが寄せられたということがあります。

それぞれの施設について、それぞれに指定管理のことは判断してきました。こういった事業については、また改めて見直しをしていただきたいと思います。

それから、もう一つ、引き続き徴収の強化がされている滞納整理についてです。それぞれで伺ったところ、この2年間ほどで、滞納整理の進捗によって令和5年度の繰越しの額が減ってきているというお話がありました。

これまで自分が御案内した方でも生活困難な方がいらっしゃいましたし、とりわけ、同時にこれは大変評価できる場所だと思いますが、重層的支援が行われているので、そちらにつながりようなことも含めた、それこそ、どなたも取り残さない事業を進めていただきたいと思いますというふうに考えます。

また、ほかの点については本会議でお話しします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

これにて討論を終結し、採決に入ります。

採決については議案の番号順に行います。

初めに、議案第1号について採決を行います。

議案第1号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 賛成多数であります。よって、議案第1号は、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第2号について採決を行います。

議案第2号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 賛成多数であります。よって、議案第2号は、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第3号について採決を行います。

議案第3号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第3号は、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第4号について採決を行います。

議案第4号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 賛成多数であります。よって、議案第4号は、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第5号について採決を行います。

議案第5号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 賛成多数であります。よって、議案第5号は、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第6号について採決を行います。

議案第6号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 賛成多数であります。よって、議案第6号は、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第7号について採決を行います。

議案第7号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 御異議なしと認めます。よって、議案第7号は、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第8号について採決を行います。

議案第8号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 御異議なしと認めます。よって、議案第8号は、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

長時間御苦労さまでした。これにて予算特別委員会を閉会いたします。

午後3時14分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会

委員長